

初 版：2025年11月20日

更新日：2025年12月5日

版 数：1.1

2026年度 学生募集要項

一般選抜

東日本地域別スカラシップ選抜

大学入学共通テスト利用選抜



東北学院大学

目 次

1 はじめに	3
1-1 募集要項の内容変更と不測事態発生時の措置について	3
1-2 お問い合わせ先について	3
1-3 個人情報の取扱いについて	4
1-4 受験上の配慮について	5
1-5 学部学科および募集定員	6
1-6 2026年度学生納付金等について	7
1-7 出願から入学手続きまでの流れ	7
2 一般選抜前期日程概要	8
2-1 募集定員	8
2-2 試験日程	8
2-3 出願資格	8
2-4 選抜内容	9
2-5 併願制度	11
2-6 英語資格・検定試験の公式スコアについて	13
3 一般選抜後期日程概要	14
3-1 募集定員	14
3-2 試験日程	14
3-3 出願資格	14
3-4 選抜内容	15
3-5 第二志願学科について	17
4 東日本地域別スカラシップ選抜概要	18
4-1 募集定員	18
4-2 試験日程	18
4-3 出願資格	18
4-4 選抜内容	18
4-5 東北学院大学東日本地域別スカラシップ選抜給付奨学金について	19
4-6 一般選抜前期日程(A日程)との併願制度	19
5 大学入学共通テスト利用選抜(前期・後期)概要	20
5-1 募集定員	20
5-2 試験日程	20
5-3 出願資格	20
5-4 選抜内容	21
6 出願	24
6-1 出願について	24
6-2 事前準備	24
6-3 顔写真	25
6-4 WEB出願登録について	26
6-5 入学検定料の支払い	26
6-6 出願書類の概要	28
6-7 出願書類の郵送	28
6-8 出願書類提出の留意事項	29
7 受験	32
7-1 受験票印刷	32
7-2 選抜日程	33
7-3 受験上の注意	33
7-4 試験場詳細	34
8 合格発表と入学手続き	38
8-1 合否照会システムとWEB出願サイト	38
8-2 合格発表日	38
8-3 合格照会システム	38
8-4 入学手続きについて	40
付 録	42

1 はじめに

本募集要項には、入学者選抜の概要に加え、出願準備から受験に関わる内容、合格発表、そして入学手続きの流れを記載しています。各種手続きや受験される際に重要な事項をまとめておりますので、出願者の方だけでなく保証人の方も、内容を十分にご確認いただき、必要に応じて繰り返しお読みください。なお、出願が受理された時点で、本募集要項の記載内容に同意の上、受験するものといたします。

また、お問い合わせについては、原則として出願者ご本人からお願いいたします。制度の説明などは保証人の方にも対応可能ですが、出願者以外の方からのお問い合わせについては、個人情報保護の観点から回答できない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

1-1 募集要項の内容変更と不測事態発生時の措置について

●募集要項の記載事項の変更

募集要項に記載されている内容（選抜の方法・日程・会場など）の変更があった場合は、大学ホームページでお知らせしますので、出願及び試験の前には必ず確認してください。

●不測の事態の措置

地震、津波、洪水、暴風雨、台風、疫病、感染症、その他の天変地異、本学の責めによらない火災、その他の不可抗力により、記載している選抜内容や日程どおりに選抜や合格発表等を実施することが困難であると、本学にて判断した場合、選抜の延期や内容の変更等の措置をとることがあります。

試験実施日の前に発生した事象で措置が必要なものは対応が決まり次第、速やかに大学ホームページにて公開します。

試験当日に事象が発生した場合、その内容に応じて適切な措置を講じます。必要に応じて試験会場でお知らせすることもありますので、ご理解のほどお願いいたします。

これらの不可抗力に伴ったやむを得ない事情による選抜内容等の変更に伴う出願者の個人的な損害について、本学として責任を負うことはいたしかねます。

●東北学院大学 入試・入学案内トップサイト

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/>

1-2 お問い合わせ先について

WEB出願操作方法に関するお問い合わせ先

「学び・教育」出願サポートセンター（運用会社：株式会社キャリアス）

TEL:0120-202-079 365日24時間対応（ただし、各選抜のWEB出願期間のみ）

※このサポートセンターはWEB出願サイトの操作に関するお問い合わせ専用です。

※選抜概要、試験実施等、WEB出願の操作以外については東北学院大学入試部アドミッションズ・オフィスにご確認ください。

東北学院大学入試部アドミッションズ・オフィス

入試部代表メール：ao-sec@ml.tohoku-gakuin.ac.jp

TEL：022-264-6455 月～金 9：00-17：00

※祝日、クリスマス（12月25日）、年末年始（12月29日～1月3日）を除く

※メールでのお問い合わせは1週間程度回答にお時間をいただく場合があります。

※試験実施日当日は試験本部を設営するため連絡先が変更となる場合があります。

試験当日の連絡先が変更となる選抜については受験にかかる注意事項に記載します。

1-3 個人情報の取扱いについて

本学入学者選抜に出願される際は、WEB出願登録と出願書類の提出が必要となるため、出願者・保証人の個人情報をご提供いただきます。これらの情報は、入学選抜の実施や入学手続きに加え、入学後の学生情報の作成などにも活用されます（個人情報の利用目的の詳細については、以下に記載する『東北学院大学における個人情報の取扱いについて』をご確認ください）。

なお、WEB出願の登録をいただいた時点で、上記の個人情報の取扱いや、入学後の教育・学習データの活用についてご同意いただいたものといたします。

東北学院大学における個人情報の取扱いについて

学校法人東北学院（以下「本院」といいます。）は、個人情報保護の重要性を認識し、「個人情報の保護に関する法律」に基づき「学校法人東北学院個人情報保護に関する基本方針」及び「学校法人東北学院個人情報保護規程」を定めております。本院教職員へはこれらの周知徹底を図り、個人情報の適正な管理と保護に努めております。

詳細については、法人ホームページをご確認ください。

URL：<https://www.tohoku-gakuin.jp/general/privacy.html>

東北学院大学における教育・学習データの取扱いについて

東北学院大学（以下「本学」といいます。）は、教育・学習活動において情報システム等に蓄積された教育・学習データについて、「1. 個人情報保護」に準じて安全な方法で取得・保持・分析し、客観的データに基づく教育改善や学生等の学習支援を図ることを目的として、『東北学院大学教育・学習データ利活用ポリシー』及び『東北学院大学における教育・学習データの管理に関する基本方針』を策定し、学生個人の情報は適切に管理することとしています。教育・学習データをもとにした分析結果を学内外に公表する場合も、個人を特定できる内容が公になることはありません。詳細については、法人ホームページをご確認ください。

『東北学院大学教育・学習データ利活用ポリシー』及び『東北学院大学における教育・学習データの管理に関する基本方針』については、大学ホームページをご確認ください。

URL：<https://sites.google.com/g.tohoku-gakuin.ac.jp/tgu-dx-portal/> ホーム / 東北学院大学における dx への考え方

1-4 受験上の配慮について

病気・負傷及び身体障がい、発達障がい、精神障がいなどのため、受験上の配慮が必要な方は、出願（入学検定料納付前）の2か月前までに必ずアドミッションズ・オフィスへ連絡してください。申請は下表に従ってください。必要な場合、本学において出願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等の面談等を行うこともあります。なお、ご相談いただいた内容によっては、ご希望に添えないこともありますので、予めご了承ください。

※申請内容は入学試験の可否には一切影響しません。

①東北学院大学入試部アドミッションズ・オフィスに申請希望することを連絡。

②東北学院大学入試部アドミッションズ・オフィスより、「受験上の配慮申請書」を取得。

③ 必要事項を記入した書類に加え、「障害者手帳」のコピー又は医師の「診断書」のコピーを提出。

④ 東北学院大学入試部アドミッションズ・オフィスより申請内容について、回答いたします。

提出書類	「受験上の配慮申請書」に加え、「障害者手帳」のコピー又は医師の「診断書」のコピー	連絡先 〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1 東北学院大学 入試部アドミッションズ・オフィス TEL022-264-6455 FAX022-264-6377
申請期限	出願の2か月前まで	

●修学上の配慮:入学後の修学における支援(合理的配慮)について

入学後の修学における支援(合理的配慮)は、受験上の配慮の内容と異なります。入学後の修学に関する支援についてのご質問やご相談についても、まずはアドミッションズ・オフィスまでご連絡ください。特に、支援内容として施設の改修や設備設置、特別な人員配置等を希望される場合には、対応までに相当の時間を要したり、本学では対応ができない場合もあり得ますので、授業開始に合わせた支援に向けて、受験前のできるだけ早い段階(出願の4か月前程度)にご相談ください。

本学への進学にあたっての不安をなくし、希望する大学生活を送っていただくためには、事前に希望される本学での学びについて十分知ってから受験していただくことが大切だと考えております。受験を検討する前にオープンキャンパスに参加して、キャンパスや入学を希望する学部・学科の様子を見学したり、授業等について教職員に確認してみたりすることをお勧めします。また、オープンキャンパスでは障がい学生支援の相談ブースも設けておりますので、ぜひご利用ください。

●入学後の修学における支援(合理的配慮)の手続きについて

入学後の修学に関する支援の申請は、入学後(4月1日以降)にあらためて学生健康支援センター学生支援室で行っていただく必要があります。手続き等につきましては本学ウェブページにてご確認ください。

東北学院大学学生健康支援センター学生支援室

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/facilities/center/health/supportroom.html>

1-5 学部学科および募集定員

学部	学科	一般選抜			東日本地域別 スカラシップ選抜	大学入学 共通テスト利用選抜	
		前期日程		後期日程		前期	後期
		A日程	B日程				
文学部	英文学科	23	22	4	全学科の合計が36名	7	3
	総合人文学科	10	10	3		8	2
	歴史学科	31	30	7		13	3
	教育学科	14	13	3		5	2
経済学部	経済学科	100	100	10		30	11
経営学部	経営学科	59	58	14		25	9
法学部	法律学科	77	77	10		35	8
工学部	機械知能工学科	22	21	4		9	2
	電気電子工学科	24	22	5		10	2
	環境建設工学科	22	21	4		9	2
地域総合学部	地域コミュニティ学科	30	30	5		13	4
	政策デザイン学科	30	30	5		10	2
情報学部	データサイエンス学科	38	38	5		15	2
人間科学部	心理行動科学科	33	33	6	12	3	
国際学部	国際教養学科	30	24	2	12	2	
合計		543	529	87	36※	213	57

※東日本地域別スカラシップ選抜募集定員について

東日本地域別スカラシップ選抜は下表の学科定員、地区定員の合わせて最大36名で、「一般選抜前期日程(A日程)」の募集定員に含まれます。

① 学科定員枠：15名

学部	学科	定員
文学部	英文学科	1
	総合人文学科	1
	歴史学科	1
	教育学科	1
経済学部	経済学科	1
経営学部	経営学科	1
法学部	法律学科	1

学部	学科	定員
工学部	機械知能工学科	1
	電気電子工学科	1
	環境建設工学科	1
地域総合学部	地域コミュニティ学科	1
	政策デザイン学科	1
情報学部	データサイエンス学科	1
人間科学部	心理行動科学科	1
国際学部	国際教養学科	1

② 地区定員枠：21名

地区	定員
青森地区	3
岩手地区	3
秋田地区	3
宮城地区	3
山形地区	3
福島地区	3
北海道・新潟・北関東地区	3

栃木、茨城、群馬出身の出願者は、北海道・新潟・北関東地区に区分されます。

1-6 2026年度学生納付金等について

- ① 学生納付金の詳細は本学ホームページより確認することができます。
- ② 2026年度学生納付金等については、決定次第大学ホームページで発表します。
発表前は金額が変更となることがありますが、「2025年度入学生について」を参考としてください。

URL:<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/campuslife/tuition/noufu.html>

学生納付金以外に必要なお金

●教科書代

履修する授業により異なります。教科書を使わない授業もあれば、教科書(1冊数百円から数千円)を使用する授業もあります。

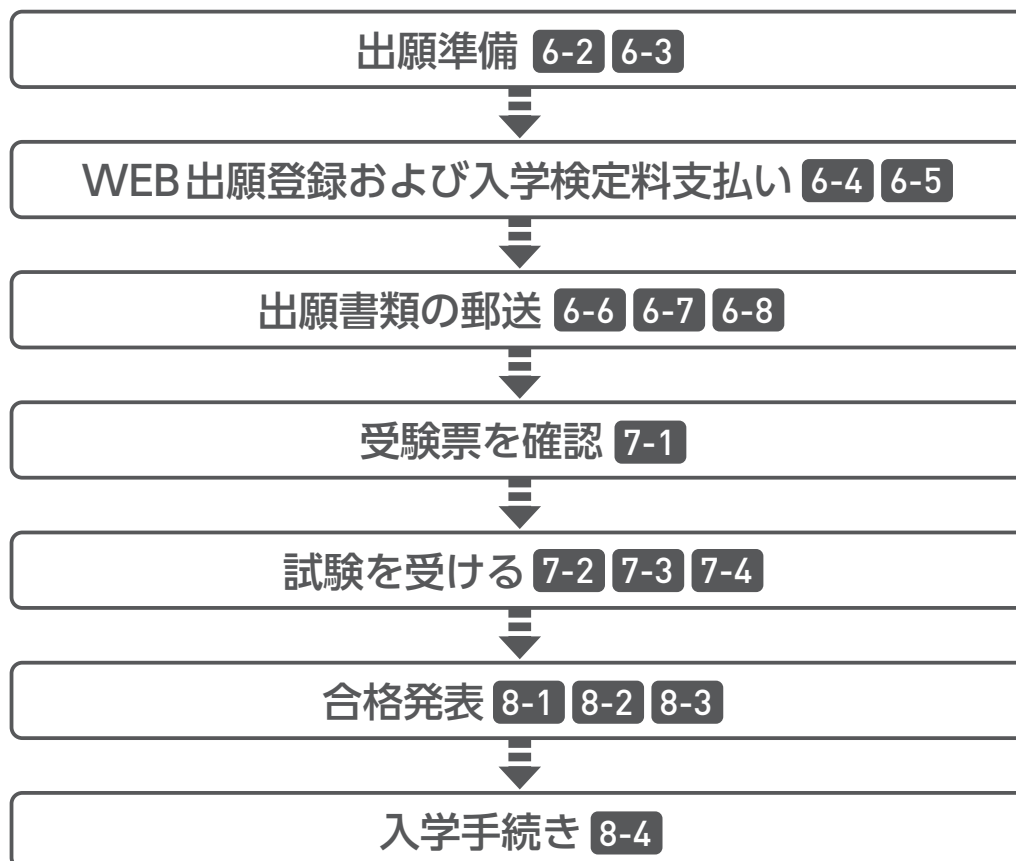
●ノートパソコン代

授業等でノート型パソコンを使用します。詳しくは、入学手続きの際にお知らせいたします。

●資格取得にかかる実習費等

学部学科によって取得可能な資格が異なりますので、大学ホームページ等でご確認ください。

1-7 出願から入学手続きまでの流れ



2 一般選抜前期日程概要

2-1 募集定員

「学部・学科および募集定員」(6ページ表)を参照してください。

2-2 試験日程

日程	出願期間		試験日	学部・学科	試験場	試験時間	合格発表
	WEB出願登録 入学検定料の支払い	出願書類の郵送					
前期日程	A日程 2025年12月15日(月) 0:00～ 2026年1月15日(木) 14:59まで	2026年1月6日(火)～ 2026年1月15日(木) 15:00必着	2026年 2月1日(日)	全学部 全学科	仙台 札幌 函館 青森 八戸 盛岡 秋田 山形 鶴岡 福島 郡山 東京	10:00～11:00 英語 12:30～14:30 2科目	2026年 2月13日(金) 10:00
	B日程		2026年 2月2日(月)				

集合時間は9:30です。詳細は、31ページを参照してください。

選抜日程留意事項

- ※1 本書に記載している日時はすべて日本標準時です。
- ※2 WEB出願登録及び入学検定料の支払いと出願書類の郵送の締切最終日は同日としていますが、一部WEB出願登録後に出力される資料を出願書類としているため、郵送期間を考慮し余裕をもって出願登録を行ってください。
- ※3 提出書類は必ず簡易書留および速達による郵送を行ってください。
- ※4 合格確認はWEB出願システムから行ってください。発表日時から5日間程度の期間のみ合否照会システムでも結果の簡易確認が行えます。
- ※5 上記の合格発表日時以降、WEB出願システムから合格通知書をダウンロードすることができます。

■その他の日程

No.	行 事	日 時
1	受験票公開	2026年1月27日(火)
2	合否照会システム照会期間	2026年2月13日(金)10:00～2026年2月17日(火)17:00
3	入学手続きサイト公開日	2025年12月1日(月)10:00
4	入学手続き期間	2026年2月13日(金)10:00～ ※手続期限は手続方法により異なります。

2-3 出願資格

次のいずれかに該当する方です。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2026年3月卒業見込みの方
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した方、または2026年3月修了見込みの方
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの方

2-4 選抜内容

3科目の合計点と出願書類により総合的に評価し選抜します。

重要点	<p>出願書類では調査書と志望理由書を審査します。志望理由書は本学所定の書式に本学への志望動機・理由と入学後の学修計画を記入する書類です。志望理由書は受験者の学力の3要素(「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」)及び「主体性を持って、多様な人々と協働して学ぶ態度」)を評価するために活用されます。志望理由書は下記について記入してもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目1:「本学全体および志望する学部の入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)」をふまえた上での志望理由 ・項目2:「志望する学科の理念・目的、求める学生像」をふまえた上での学修計画 ・項目3:これまで主体的に取り組んだ学習活動(探究学習など)のまとめ
記述式問題について	<p>国語科目・数学科目の記述式問題によって、読解力・判断力・理論的な思考力・作文による表現力を評価します。</p>

試験科目・配点 (3科目)

表の見方 ●:必須科目 ○:自由選択科目① △☆▽□:自由選択科目② (同一マークから1科目のみ選択可) —:選択不可科目		文学部				経済学部	経営学部	法学部	地域総合学部		人間科	国際学部	情報学部	工学部		
		英文学科	総合人文学科	歴史学	教育学	経済学	経営学	法学	地域コミュニケーション学科	政策デザイン学科	心理行動科学科	国際教養学科	データサイエンス学科	機械知能工学科	電気電子工学科	環境建設工学科
試験科目名	高校での該当科目	以下の試験科目から2科目選択														
英語	英語コミュニケーションI, II, III, 論理・表現I, II, III	●														
国語	現代の国語 言語文化(古文・漢文を除く) 論理国語	○														
政治・経済	公共、政治・経済	○														
日本史	歴史総合、日本史探究	△														
世界史	歴史総合、世界史探究	△														
地理	地理総合、地理探究	△														
情報	情報I	☆														
文系数学	数学I(1題必答)および数学I、数学II、数学A(図形の性質、場合の数と確率)、数学B(数列、統計的な推測)、数学C(ベクトル)から2題選択	☆														
工学部数学	数学I・数学A(図形の性質、場合の数と確率)、数学II・数学B(数列、統計的な推測)の範囲から2題(必須)、数学II・数学B(数列、統計的な推測)と数学III・数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)より2題から1題選択	—														
物理	物理基礎・物理	—														
化学	化学基礎・化学	—														

- ① 各試験科目の配点は1科目100点です。※試験科目別の難易度のばらつきを考慮し偏差点を用います。
- ② 3科目の合計300点と出願書類による総合的評価をします。
- ③ 国語と物理・化学はマークシート方式と記述方式の併用で行います。英語と情報はマークシート方式、その他の科目は記述方式で行います。
- ④ 英語のリスニングは行いません。

試験科目の選択について

文学部 経済学部 経営学部 法学部 地域総合学部 人間科学部 国際学部 の各学科

試験科目	選択区分	選択条件
英語	必須	
国語	2科目選択	※1「日本史」「世界史」「地理」の3科目のうち、1科目のみ選択可 ※2「情報」「文系数学」の2科目のうち、1科目のみ選択可
政治・経済		
日本史		
世界史		
地理		
情報		
文系数学		

情報学部 データサイエンス学科

試験科目	選択区分	選択条件
英語	必須	
国語	2科目選択	※1「日本史」「世界史」「地理」の3科目のうち、1科目のみ選択可 ※2「文系数学」「工学部数学」の2科目のうち、1科目のみ選択可 ※3「物理」と「化学」の2科目のうち、1科目のみ選択可
政治・経済		
日本史		
世界史		
地理		
情報		
文系数学		
工学部数学		
物理		
化学		

工学部 機械知能工学科 工学部 電気電子工学科

試験科目	選択区分	選択条件
英語	必須	
工学部数学		
情報	1科目選択	
物理		
化学		

工学部 環境建設工学科

試験科目	選択区分	選択条件
英語	必須	
工学部数学		
物理	1科目選択	
化学		

2-5 併願制度

前期日程では、1日につき最大3学科まで出願することができます。2日間受験した場合、最大6学科に出願することが可能で、2日間とも同じ学科に出願することも可能です。また、2学科目以降の出願についての検定料は「併願割引」されます。ただし、文・経済・経営・法・地域総合・人間科・国際の各学部と工学部の同日併願はできません。また、志望する学科によっては、併願条件を満たす必要があります。詳細は併願確認表をご確認ください。



併願確認表①

		併 願 学 科												
		文 学 部				経 済 学 部	経 営 学 部	法 学 部	地 域 総 合 学 部		情 報 学 部	人 間 科 学 部	国 際 学 部	
		英 文	総 合 人 文	歴 史	教 育	経 済	経 営	法 律	地 域 コミュニティ	政 策 デザイン	サイエンス データ	心 理 行 動 科	国 際 教 養	
第1志望学科	文学部	英 文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		総 合 人 文	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		歴 史	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		教 育	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	経済学部	経 済	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	経営学部	経 営	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	法学部	法 律	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地域総合学部	地 域 コミュニティ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		政 策 デザイン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	情報学部	サイエンス データ	△①	△①	△①	△①	△①	△①	△①	△①	△①	△①	△①	
	人間科学部	心 理 行 動 科	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	国際学部	国 際 教 養	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

併願確認表②

		併 願 学 科			
		工 学 部			情 報 学 部
		機 械 知 能 工	電 気 電 子 工	環 境 建 設 工	デ ー タ サ イ エ ン ス
第1志望学科	工学部	機 械 知 能 工	○	△②	○
		電 気 電 子 工	○	△②	○
		環 境 建 設 工	○	○	○
	情報学部	デ ー タ サ イ エ ン ス	△③	△③	△④

○：併願可能
△：条件付で併願可

◆基準となる学科へ出願した場合の併願条件について

- 【△①】 データサイエンス学科を第一志望とし、文系学部を併願する場合、試験科目で「工学部数学」「物理」「化学」の3科目はいずれも選択できません。
- 【△②】 機械知能工学科または電気電子工学科を第一志望とし、工学部環境建設工学科を併願する場合、「情報」は選択できません。
- 【△③】 データサイエンス学科を第一志望とし、機械知能工学科または電気電子工学科のいずれかを併願する場合、必ず工学部数学を選択しなければなりません。また、その他に「物理」「化学」「情報」のいずれか一つを選択する必要があります。
- 【△④】 データサイエンス学科を第一志望とし、環境建設工学科を併願する場合、必ず工学部数学を選択しなければなりません。また、その他に「物理」「化学」のいずれか一つを選択する必要があります。

一般選抜前期日程 条件付き併願の例

◆条件付併願の例① 第1志望学科「データサイエンス学科」＋ 併願学科「英文学科」＋ 併願学科「法律学科」

〈必須〉		〈選択1〉		〈選択2〉
英語	+	国語	+	文系数学
英語	+	国語	+	工学部数学

各学科の受験科目の条件を満たすため、併願できます。

文系学科を併願しているため「工学部数学」を選択できません。

◆条件付併願の例② 第1志望学科「データサイエンス学科」＋ 併願学科「英文学科」＋ 併願学科「法律学科」

〈必須〉		〈選択1〉		〈選択2〉
英語	+	文系数学	+	国語
英語	+	文系数学	+	情報

各学科の受験科目の条件を満たすため、併願できます。

文系学科を併願しているため「文系数学」と「情報」を同時に選択できません。

◆条件付併願の例③ 第1志望学科「電気電子工学科」＋ 併願学科「機械知能工学科」＋ 併願学科「環境建設工学科」

〈必須〉		〈選択1〉		〈選択2〉
英語	+	工学部数学	+	物理
英語	+	工学部数学	+	情報

各学科の受験科目の条件を満たすため、併願できます。

環境建設工学科を併願しているため「情報」を選択できません。

2-6 英語資格・検定試験の公式スコアについて

◆ 一般選抜前期日程(B日程)では英語資格・検定試験の公式スコアも利用できます。

一般選抜前期日程では「英語」は受験必須科目となっています。ただし、一般選抜前期日程(B日程)については、本学が認めた英語資格・検定試験の公式スコアを持っている受験生は、公式スコアの証明書を提出することで、公式スコア換算表の換算点と試験日に受験した「英語」の点数を比較して、高得点の方を評価に使用します。公式スコアについては、出願する入試の試験日からさかのぼって、2年以内に受験したスコアが有効です。また、対象となる英語資格・検定試験と得点換算表は次頁の表で確認してください。

⚠ 英語資格・検定試験の公式スコアを持っていない場合でも、一般選抜前期日程(B日程)への出願は可能です。

2026年度選抜公式スコア換算表

		本学換算点					備考
		※英検、GTEC 換算最低点	50点	65点	85点	100点	
対象試験制度	ケンブリッジ英語検定	—	125	140	160	180	換算点100点に対応する得点以上の換算点はすべて100点とする 中間得点は、線形補間(小数点以下切り捨て)によりの換算点を算出する
	英検	1785	1818	2062	2387	2630	
	GTEC	758	857	1005	1202	1350	
	TOEIC L&R/TOEIC S&W	—	755	1150	1560	1845	
	TOEFL iBT	—	—	42	72	95	
	IELTS	—	—	4.00	5.50	7.00	
	TEAP	—	150	225	309	375	
	TEAP CBT	—	280	420	600	800	

- (1) 利用できるのは4技能を対象とした形式の公式スコアに限ります。
 - (2) 出願する入試の実施日からさかのぼって2年以内に受験したスコアを有効とします。
 - (3) 英検については、従来型、英検S-Interview(英検 2days s-Interview)、英検S-CBTを有効とします。
 - (4) 「GTEC」の対象は検定版とCBTタイプのみです。
 - (5) TOEIC L&R/TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定します。
 - (6) TOEFL iBTについては、Test Dateスコアのみを有効とします。MyBestスコアを利用することはできません。
- ※英検、GTECにおける換算最低点はそれぞれ英検48点GTEC40点とする。

3 一般選抜後期日程概要

3-1 募集定員

「学部・学科および募集定員」(6ページ表)を参照してください。

3-2 試験日程

出願期間		試験日	学部・学科	試験場	試験時間	合格発表
WEB出願登録 入学検定料の支払い	出願書類の郵送					
2026年2月 3日(火) 0:00～ 2026年2月17日(火) 14:59まで	2026年 2月12日(木)～ 2026年 2月17日(火) 15:00必着	2026年 3月4日(水)	全学部 全学科	仙台	10:00～12:00 2科目	2026年 3月13日(金) 10:00

集合時間は9:30です。詳細は、31ページを参照してください。

3-3 出願資格

次のいずれかに該当する方です。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2026年3月卒業見込みの方
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した方、または2026年3月修了見込みの方
- ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの方

選抜日程留意事項

- ※ 1 本書に記載している日時はすべて日本標準時です。
- ※ 2 WEB出願登録及び入学検定料の支払いと出願書類の郵送の締切最終日は同日としていますが、一部WEB出願登録後に出力される資料を出願書類としているため、郵送期間を考慮し余裕をもって出願登録を行ってください。
- ※ 3 提出書類は必ず簡易書留および速達による郵送を行ってください。
- ※ 4 合格確認はWEB出願システムから行ってください。発表日時から5日間程度の期間のみ合否照会システムでも結果の簡易確認が行えます。
- ※ 5 上記の合格発表日時以降、WEB出願システムから合格通知書をダウンロードすることができます。

■その他の日程

No.	行 事	日 時
1	受験票公開	2026年2月26日(木)
2	合否照会システム照会期間	2026年3月13日(金)10:00～2026年3月17日(火)17:00
3	入学手続きサイト公開日	2025年12月1日(月)10:00
4	入学手続き期間	2026年3月13日(金)10:00～2026年3月24日(火)15:00

3-4 選抜内容

2科目の合計点と出願書類により総合的に評価し選抜します。

重要点	<p>出願書類では調査書と志望理由書を審査します。志望理由書は本学所定の書式に本学への志望動機・理由と入学後の学修計画を記入する書類です。志望理由書は受験者の学力の3要素(「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」)及び「主体性を持って、多様な人々と協働して学ぶ態度」)を評価するために活用されます。志望理由書は下記について記入してもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目1:「本学全体および志望する学部の入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)」をふまえた上での志望理由 ・項目2:「志望する学科の理念・目的、求める学生像」をふまえた上での学修計画 ・項目3:これまで主体的に取り組んだ学習活動(探究学習など)のまとめ
記述式問題について	<p>国語科目・数学科目の記述式問題や小論文問題によって、読解力・判断力・理論的な思考力・作文による表現力を評価します。</p>

試験科目・配点 (2科目)

表の見方 ●: 必須科目 ▲: 選択必須科目 (同一マークから1科目選択) ★: 選択必須科目 (同一マークから1科目のみ選択) ○: 自由選択科目① △□: 自由選択科目② (同一マークから1科目のみ選択可) -: 選択不可科目 ※: 日本史世界史の2科目受験不可		文学部			経済学部	経営学部	法学部	地域総合学部		人間科学部	国際学部	情報学部	工学部			
		英文学科	総合人文学科	教育学科	歴史学科	経済学科	経営学科	法律学科	地域コミュニティ学科	政策デザイン学科	心理行動科学科	国際教養学科	データサイエンス学科	機械知能工学科	電気電子工学科	環境建設工学科
試験科目名	高校での該当科目	以下の試験科目から2科目選択														
英語	英語コミュニケーションI. II. III、 論理・表現I. II. III	●	○				○				★	○	○	○		
小論文		○	○				○				★	○	-	-		
国語	現代の国語 言語文化(古文・ 漢文を除く) 論理国語	○	○				○				★	○	-	-		
政治・ 経済	公共、政治・経済	○	○				○				○	○	-	-		
日本史	歴史総合、日本史探究	○	▲ [※]				△				○	△	-	-		
世界史	歴史総合、世界史探究	○	▲ [※]				△				○	△	-	-		
地理	地理総合、地理探究	○	▲				○				○	○	-	-		
情報	情報I	○	○				○				○	○	○	-		
文系 数学	数学I(1題必答)および数学I、 数学II、数学A(図形の性質、場 合の数と確率)、数学B(数列、 統計的な推測)、数学C(ベクトル) から2題選択	○	○				○				○	○	-	-		
工学部 数学	数学I・数学A(図形の性質、場合 の数と確率)、数学II・数学B(数 列、統計的な推測)の範囲から2 題(必須)、数学II・数学B(数列、 統計的な推測)と数学III・数学C (ベクトル、平面上の曲線と複 素数平面)より2題から1題選択	-	-				-				-	-	●	●		
物理	物理基礎・物理	-	-				-				-	□	○	○		
化学	化学基礎・化学	-	-				-				-	□	○	○		

- ① 各試験科目の配点は1科目100点です。※試験科目別の難易度のばらつきを考慮し偏差点を用います。
- ② 工学部数学のみ配点は200点です。
- ③ 工学部以外の学部学科は2科目の合計200点と出願書類による総合的評価をします。
- ④ 工学部は2科目の合計300点と出願書類による総合的評価をします。
- ⑤ 国語と物理・化学はマークシート方式と記述方式の併用で行います。英語と情報はマークシート方式、その他の科目は記述方式で行います。
- ⑥ 英語のリスニングは行いません。

試験科目の選択について

文学部 英文学科

文学部 総合人文学科

文学部 教育学科

試験科目	選択区分	選択条件
英語	1科目選択	
小論文		
国語		
政治・経済		
日本史		
世界史		
地理		
情報		
文系数学		

文学部 歴史学科

試験科目	選択区分	選択条件
英語	2科目選択	※1「日本史」、「世界史」、「地理」の3科目のうち、1科目の選択必須 ※2「日本史」「世界史」の2科目のうち、1科目のみ選択可
小論文		
国語		
政治・経済		
日本史		
世界史		
地理		
情報		
文系数学		

経済学部 経営学部 法学部 地域総合学部 人間科学部 の各学科

試験科目	選択区分	選択条件
英語	2科目選択	※1「日本史」「世界史」の2科目のうち、1科目のみ選択可
小論文		
国語		
政治・経済		
日本史		
世界史		
地理		
情報		
文系数学		

国際学部 国際教養学科

試験科目	選択区分	選択条件
英語	1科目選択	
小論文		
国語	1科目選択	
政治・経済		
日本史		
世界史		
地理		
情報		
文系数学		

情報学部 データサイエンス学科

試験科目	選択区分	選択条件
英語	2科目選択	※1「日本史」「世界史」2科目のうち、1科目のみ選択可 ※2「物理」と「化学」の2科目のうち、1科目のみ選択可
小論文		
国語		
政治・経済		
日本史		
世界史		
地理		
情報		
文系数学		
物理		
化学		

工学部 機械知能工学科

工学部 電気電子工学科

試験科目	選択区分	選択条件
工学部数学	必須	
英語	1科目選択	
情報		
物理		
化学		

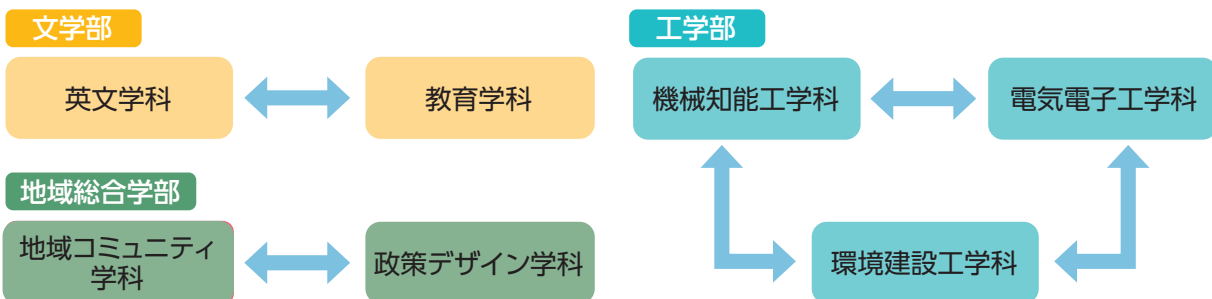
工学部 環境建設工学科

試験科目	選択区分	選択条件
工学部数学	必須	
英語	1科目選択	
物理		
化学		

3-5 第二志望学科制について

文学部の英文学科と教育学科、工学部の各学科、地域総合学部の各学科を志願する場合は、下の学科間に限り第二志望学科を選択することができます。

たとえば、機械知能工学科を受験する際に第二志望学科として電気電子工学科を選択した場合、第一志望で出願した機械知能工学科に不合格の判定でも、第二志望の電気電子工学科に合格となる場合があります。



- ※1 一般選抜前期日程における併願とは異なり、第一志望の学科が不合格の場合のみ第二志望の学科の可否を判定します(二つの学科で同時に合格とはなりません)。
- ※2 工学部機械知能工学科または電気電子工学科を第一志望学科とし、環境建設工学科を第二志望学科とする場合、「情報」は選択できません。
- ※3 第二志望学科分の入学検定料は無料です。

4 東日本地域別スカラシップ選抜概要

東日本地域別スカラシップ選抜とは、本選抜に合格することで「東北学院大学東日本地域別スカラシップ選抜給付奨学金」の受給資格を得ることができる選抜です。選抜内容は一般選抜前期日程(A日程)と同一です。

4-1 募集定員

「学部・学科および募集定員」(6ページ表)を参照してください。

4-2 試験日程

一般選抜前期日程(A日程)と同じです。8ページ表<2-2>を参照してください。

4-3 出願資格

一般選抜前期日程(A日程)の出願条件および下記条件の①に加え、②～④の条件いずれかを満たす方です。

- ① 出願する本学の学部学科への入学を強く希望し、合格した場合には入学を確約できる方
- ② 2026年3月卒業見込みの方で、在籍している高等学校もしくは中等教育学校の所在地が対象となる11道県(北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島、新潟、栃木、茨城、群馬)にあること。
- ③ 2026年3月卒業見込みの方で、在籍している高等学校もしくは中等教育学校の所在地が対象の11道県に該当しないときは、出願者本人の住民票の住所が対象11道県にあること。
- ④ 2025年度3月以前に高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方(2026年3月31日までにこれに該当する見込みの方も含む)は、出願者本人の住民票の住所が対象11道県にあること。

なお出願資格②の場合、出願書類調査書に記載されている高等学校もしくは中等教育学校の所在地で、出願資格③④の場合、出願時に出願書類に加えて住民票の写しを提出することで、確認します。

4-4 選抜内容

一般選抜前期日程(A日程)を利用して選抜を行います。

選抜内容および試験科目・配点は全て一般選抜前期日程と同一です。(9ページ参照)。

ただし、試験の成績が一般選抜前期日程(A日程)全受験者の中で上位25%以内に位置していることが合格条件となります。

なお、本選抜で不合格の場合でも、一般選抜前期日程(A日程)の合格となる場合があります。(詳細は「一般選抜前期日程(A日程)との併願について」を参照)。

4-5 東北学院大学東日本地域別スカラシップ選抜給付奨学金について

東日本地域別スカラシップ選抜に合格した方は返還不要の給付型奨学金(年間50万円)を最大4年間受給することができます。ただし、進級後(2年目以降)も受給するためには、継続条件を満たしていることが必要です。なお、合格者は通常の入学手続きが必要です。奨学金は入学後に給付されます。

4-6 一般選抜前期日程(A日程)との併願制度

東日本地域別スカラシップ選抜への出願することにより、一般選抜前期日程(A日程)の第一志望学科に出願したものとみなします。そのため、一般選抜前期日程(A日程)同様に他学科との併願をすることもできます。併願の条件は一般選抜前期日程(A日程)と同一です。詳細は10ページを参照してください。

なお、一般選抜前期日程(A日程)として合格した場合は、志望順位に関わらず入学確約条件は適用されません。

【例】



5 大学入学共通テスト利用選抜(前期・後期)概要

5-1 募集定員

「学部・学科および募集定員」(6ページ表)を参照してください。

5-2 試験日程

日程	出願期間		試験日	学部・学科	合格発表
	WEB出願登録 入学検定料の支払い	出願書類の郵送			
前期	2025年12月15日(月) 0:00～ 2026年1月15日(休) 14:59まで	2026年1月6日(火)～ 2026年1月15日(休) 15:00必着	〈大学入学共通テスト試験日〉 2026年 1月17日(土)・18日(日)	全学部 全学科	2026年2月13日(金) 10:00
後期	2026年2月3日(月) 0:00～ 2026年2月17日(休) 14:59まで	2026年2月12日(木)～ 2026年2月17日(火) 15:00必着			2026年3月13日(金) 10:00

選抜日程留意事項

- ※1 本書に記載している日時はすべて日本標準時です。
- ※2 WEB出願登録及び入学検定料の支払いと出願書類の郵送の締切最終日は同日としていますが、一部WEB出願登録後に出力される資料を出願書類としているため、郵送期間を考慮し余裕をもって出願登録を行ってください。
- ※3 提出書類は必ず簡易書留および速達による郵送を行ってください。
- ※4 合格確認はWEB出願システムから行ってください。発表日時から5日間程度の期間のみ合否照会システムでも結果の簡易確認が行えます。
- ※5 上記の合格発表日時以降、WEB出願システムから合格通知書をダウンロードすることができます。

■その他の日程

	No.	行 事	日 時
前期	1	受験票公開	2026年1月27日(火)
	2	合否照会システム照会期間	2026年2月13日(金)10:00～2026年3月17日(火)17:00
	3	入学手続きサイト公開日	2025年12月1日(月)10:00
	4	入学手続き期間	2026年2月13日(金)10:00～ ※手続期限は手続方法により異なります。
後期	1	受験票公開	2026年2月26日(休)
	2	合否照会システム照会期間	2026年3月13日(金)10:00～2026年3月17日(火)17:00
	3	入学手続きサイト公開日	2025年12月1日(月)10:00
	4	入学手続き期間	2026年3月13日(金)10:00～2026年3月24日(火)15:00

5-3 出願資格

- (1) 次のいずれかに該当し、かつ(2)に該当する方です。
- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、または2026年3月卒業見込みの方
 - ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した方、または2026年3月修了見込みの方
 - ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した方と同等以上の学力があると認められる方、または2026年3月31日までにこれに該当する見込みの方
- (2) 令和8年度大学入学共通テストを受験した方(過年度の「大学入学共通テスト」の成績は利用できません)

5-4 選抜内容

本学各学科の指定した教科・科目の大学入学共通テスト試験の結果および出願書類により総合的に評価し選抜します。

本学独自の個別学力検査は行いません。

重要点

出願書類では調査書と志望理由書を審査します。志望理由書は本学所定の書式に本学への志望動機・理由と入学後の学修計画を記入する書類です。志望理由書は受験者の学力の3要素（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」）及び「主体性を持って、多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するために活用されます。志望理由書は下記について記入してもらいます。

- ・項目1:「本学全体および志望する学部の入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)」をふまえた上での志望理由
- ・項目2:「志望する学科の理念・目的、求める学生像」をふまえた上での学修計画
- ・項目3:これまで主体的に取り組んだ学習活動(探究学習など)のまとめ

■大学入学共通テスト利用選抜前期 試験科目・配点

学 科	試 験 教 科 ・ 科 目		備 考	配 点		
	教 科	科 目				
英文学科	国 語	[国語]	5教科から 2科目 選択	○3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ○「地理歴史・公民」「数学」「理科」の教科については2科目使用も可能。 ※理科の「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は4つのうち2つを選択解答する。	200点 (各100点)	合計 500点
	地理歴史・公民	[歴史総合, 日本史探究][歴史総合, 世界史探究][地理総合, 地理探究][公共, 政治・経済][公共, 倫理][地理総合/歴史総合/公共]				
	数 学	[数学I, 数学A][数学II, 数学B, 数学C]				
	情 報	[情報I]				
	理 科	[物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎][物理][化学][生物][地学]				
	外国語	[英語]	必須	300点		
総合人文学科	国 語	[国語]	5教科から 2教科 2科目選択	○2教科3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ※理科の「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は4つのうち2つを選択解答する。	400点 (各200点)	合計 700点
	地理歴史・公民	[歴史総合, 日本史探究][歴史総合, 世界史探究][地理総合, 地理探究][公共, 政治・経済][公共, 倫理][地理総合/歴史総合/公共]				
	数 学	[数学I, 数学A][数学II, 数学B, 数学C]				
	情 報	[情報I]				
	理 科	[物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎][物理][化学][生物][地学]				
	外国語	[英語]	必須	300点		
歴史学科	国 語	[国語]	5教科から 2科目 選択	○3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ○「地理歴史・公民」「理科」の教科については2科目使用も可能。 ※理科の「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は4つのうち2つを選択解答する。	400点 (各200点)	合計 700点
	地理歴史・公民	[歴史総合, 日本史探究][歴史総合, 世界史探究][地理総合, 地理探究][公共, 政治・経済][地理総合/歴史総合/公共]				
	数 学	[数学I, 数学A][数学II, 数学B, 数学C]				
	情 報	[情報I]				
	理 科	[物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎][物理][化学][生物][地学]				
	外国語	[英語]	必須	300点		
教育学科	国 語	[国語]	5教科から 2科目 選択	○3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ○「地理歴史・公民」「数学」「理科」の教科については2科目使用も可能。 ※理科の「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は4つのうち2つを選択解答する。	400点 (各200点)	合計 600点
	地理歴史・公民	[歴史総合, 日本史探究][歴史総合, 世界史探究][地理総合, 地理探究][公共, 政治・経済][公共, 倫理][地理総合/歴史総合/公共]				
	数 学	[数学I, 数学A][数学II, 数学B, 数学C]				
	情 報	[情報I]				
	理 科	[物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎][物理][化学][生物][地学]				
	外国語	[英語]	必須	200点		

学 科	試 験 教 科 ・ 科 目		備 考	配 点			
	教 科	科 目					
経済学科	国 語	「国語」	必須		200点	合計 600点	
	地理歴史・ 公 民	「歴史総合, 日本史探究」「歴史総合, 世界史探究」「地理総合, 地理探究」「公共, 政治・経済」「公共, 倫理」「地理総合/歴史総合/公共」	4教科から 2科目 選択	○3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ○「地理歴史・公民」「数学」「理科」の教科については2科目使用も可能。 ※理科の「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は4つのうち2つを選択解答する。	200点 (各100点)		
	数 学 情 報	「数学I, 数学A」「数学II, 数学B, 数学C」 「情報」					
	理 科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」					
	外 国 語	「英語」	必須		200点		
経営学科	国 語	「国語」	5教科から 2科目 選択		○3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ○「地理歴史・公民」「数学」「理科」の教科については2科目使用も可能。 ※理科の「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は4つのうち2つを選択解答する。	400点 (各200点)	合計 600点
	地理歴史・ 公 民	「歴史総合, 日本史探究」「歴史総合, 世界史探究」「地理総合, 地理探究」「公共, 政治・経済」「公共, 倫理」「地理総合/歴史総合/公共」					
	数 学 情 報	「数学I, 数学A」「数学II, 数学B, 数学C」 「情報」					
	理 科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」					
	外 国 語	「英語」	必須	200点			
法律学科	国 語	「国語」	必須		200点	合計 600点	
	地理歴史・ 公 民	「歴史総合, 日本史探究」「歴史総合, 世界史探究」「地理総合, 地理探究」「公共, 政治・経済」「公共, 倫理」「地理総合/歴史総合/公共」	4教科から 2科目 選択	○3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ○「地理歴史・公民」「数学」「理科」の教科については2科目使用も可能。 ※理科の「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は4つのうち2つを選択解答する。	200点 (各100点)		
	数 学 情 報	「数学I, 数学A」「数学II, 数学B, 数学C」 「情報」					
	理 科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」					
	外 国 語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	1科目選択		200点		
機械知能工学科	数 学	「数学I, 数学A」 「数学II, 数学B, 数学C」	必須			100点	合計 600点
	情 報	「情報」	2教科から 1科目選択	○2科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ○2科目受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。	100点		
	理 科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎(必ず物理基礎と化学基礎を選択)」「物理」「化学」	1科目選択			200点	
	外 国 語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	1科目選択			200点	
	電気電子工学科	数 学	「数学I, 数学A」 「数学II, 数学B, 数学C」	必須		200点	
情 報		「情報」	3教科 5科目から 1科目選択	○2科目受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。	200点		
理 科		「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎(必ず物理基礎と化学基礎を選択)」「物理」「化学」					
外 国 語		「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」				1科目選択	200点
環境建設工学科		国 語	「国語」(近代以降の文章)		必須		100点
	数 学	「数学I, 数学A」 「数学II, 数学B, 数学C」	必須		○2科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。	100点	
	情 報	「情報」	2教科から 1科目選択				
	理 科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎(ただし物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から2科目選択)」「物理」「化学」「生物」	1科目選択	100点			
	外 国 語	「英語」	必須	100点			
政策デザイン学科 地域コミュニケーション学科	国 語	「国語」	5教科から 2教科 2科目選択	○2教科3科目以上受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。 ※理科の「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は4つのうち2つを選択解答する。	400点 (各200点)	合計 600点	
	地理歴史・ 公 民	「歴史総合, 日本史探究」「歴史総合, 世界史探究」「地理総合, 地理探究」 「公共, 政治・経済」「公共, 倫理」「地理総合/歴史総合/公共」					
	数 学 情 報	「数学I」「数学I, 数学A」「数学II, 数学B, 数学C」 「情報」					
	理 科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」「物理」「化学」「生物」「地学」					
	外 国 語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	1科目選択		200点		

学 科	試 験 教 科 ・ 科 目		備 考	配 点		
	教 科	科 目				
データサイエンス学科	国 語	「国語」(近代以降の文章)	5教科から2教科 2科目選択	○2教科3科目以上受験した場合は 高得点の科目を合否判定に使用 する。 ※理科の「物理基礎/化学基礎/生 物基礎/地学基礎」は4つのうち 2つを選択解答する。	400点 (各200点)	合計 600点
	地理歴史・ 公 民	「歴史総合, 日本史探究」「歴史総合, 世界史探究」「地理総合, 地理探究」「公共, 政治・経済」「公共, 倫理」「地理総合/歴史 総合/公共」				
	数 学	「数学I」「数学I, 数学A」「数学II, 数学B, 数学C」				
	情 報	「情報I」				
	理 科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」「物理」「化学」 「生物」「地学」				
外 国 語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	1科目選択		200点		
心理行動科学科	国 語	「国語」	5教科から2教科 2科目選択	○2教科3科目以上受験した場合は 高得点の科目を合否判定に使用 する。 ※理科の「物理基礎/化学基礎/生 物基礎/地学基礎」は4つのうち 2つを選択解答する。	400点 (各200点)	合計 600点
	地理歴史・ 公 民	「歴史総合, 日本史探究」「歴史総合, 世界史探究」「地理総合, 地理探究」「公共, 政治・経済」「公共, 倫理」「地理総合/歴史 総合/公共」				
	数 学	「数学I」「数学I, 数学A」「数学II, 数学B, 数学C」				
	情 報	「情報I」				
	理 科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」「物理」「化学」 「生物」「地学」				
外 国 語	「英語」	必須		200点		
国際教養学科	国 語	「国語」	5教科から2教科 2科目選択	○2教科3科目以上受験した場合は 高得点の科目を合否判定に使用 する。 ※理科の「物理基礎/化学基礎/生 物基礎/地学基礎」は4つのうち 2つを選択解答する。	400点 (各200点)	合計 600点
	地理歴史・ 公 民	「歴史総合, 日本史探究」「歴史総合, 世界史探究」「地理総合, 地理探究」「公共, 政治・経済」「公共, 倫理」「地理総合/歴史 総合/公共」				
	数 学	「数学I」「数学I, 数学A」「数学II, 数学B, 数学C」				
	情 報	「情報I」				
	理 科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」「物理」「化学」 「生物」「地学」				
外 国 語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	1科目選択		200点		

⚠【注意点】

- 1) 総合人文学科・歴史学科・教育学科・経営学科・電気電子工学科・地域コミュニティ学科・政策デザイン学科・データサイエンス学科・心理行動科学科・国際教養学科の選択科目のうち大学入学共通テスト100点満点の科目は200点満点に換算する。
- 2) 英文学科の「国語」は200点満点を100点満点に換算する。
環境建設工学科の「国語(近代以降の文章)」は110点満点を100点満点に換算する。
データサイエンス学科の「国語(近代以降の文章)」は110点満点を200点満点に換算する。
- 3) 「英語」を受験の場合リーディングとリスニングの配点は以下の通り
英文学科・総合人文学科・歴史学科の「英語」のリーディングは200点に換算する。
環境建設工学科の「英語」はリーディング100点を75点に、リスニング100点を25点に換算する。
機械知能工学科・電気電子工学科・地域コミュニティ学科・データサイエンス学科・心理行動科学科の「英語」はリーディング100点を150点に、リスニング100点を50点に換算する。教育学科・経済学科・経営学科・法律学科・政策デザイン学科・国際教養学科の「英語」はリーディング100点、リスニング100点となる。
- 4) 機械知能工学科の「理科」は100点満点を200点満点に換算する。

■大学入学共通テスト利用選抜後期 試験科目・配点

文・経済・経営・法・地域総合・情報・人間科・国際の各学部と工学部機械知能工学科・電気電子工学科 の試験教科・科目、備考、配点は前期と同じ

学 科	試 験 教 科 ・ 科 目		備 考	配 点	
	教 科	科 目			
環境建設工学科	数 学	「数学I, 数学A」	必須	○2科目以上受験した場合は高得 点の科目を合否判定に使用する。	100点
		「数学II, 数学B, 数学C」			
	情 報	「情報I」	2教科から 1科目選択		100点
	理 科	「物理」「化学」「生物」	2教科から 1科目選択		100点
外 国 語	「英語」				合計 300点

⚠【注意点】 環境建設工学科の「英語」はリーディング100点を75点に、リスニング100点を25点に換算する。

はじめに

一般選抜前期日程概要

一般選抜後期日程概要

スカラシップ選抜概要

東日本地域別
大学入学共通テスト
利用選抜(前期後期)概要

出 願

受 験

合格発表と入学手続き

付 録

6 出願

6-1 出願について

出願は「WEB出願登録と入学検定料の支払い」及び「出願書類の郵送」を行うことで完了します。

6-2 事前準備

WEB出願をするために以下をご準備ください。

項目	詳細
インターネット環境	インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン、タブレット端末が必要になります。システム利用環境は以下をご確認ください。 ◎WEB出願システム利用環境 https://e-apply.jp/ds/tohoku-gakuin/public/preparation
カラー印刷環境	白色のA4用紙で提出いただく出願書類を印刷する必要があります。 自宅にプリンターがない場合は、学校や知人、コンビニエンスストアのプリントサービス等、PDFファイルをカラー印刷できる環境を準備してください。
出願者及び保証人のメールアドレス	WEB出願システムのアカウント登録に利用します。 出願者または保証人本人のみが利用できる個人所有のメールアドレスをご用意ください。 なお、複数のメールアドレス登録は行えません。 ×利用禁止メールアドレス 出身校が発行したメールアドレス メーリングリスト/共有メールアドレスなどの個人メールでないもの ○利用可能メールアドレス Google、Apple、Microsoftなどのフリーメールが利用可能です。 ※メール受信のドメイン指定をされている方は、「@e-apply.jp」、「@mail.tohoku-gakuin.ac.jp」から受信できるように設定してください。 ◎推奨メールアドレス 大学に入学したあともそのまま継続して利用できるメールアドレスを推奨します。 ※試験に合格、その後、入学手続きを完了し入学を許可された方は、WEB出願システムにアカウント登録いただいたメールアドレスを、本学の学生管理システムの本人連絡先として登録することを予定しております。
顔写真データ	次ページの顔写真を満たすものを、WEB出願システムにアップロードしていただきます。 ※出願書類への顔写真の貼り付けはありませんので、写真の用意は不要です。 顔写真データのみご準備ください。
大学入学共通テスト申込番号等	大学入学共通テスト利用選抜を受験される方は、WEB出願登録時に大学入学共通テストの申込番号等が必要となります。 大学入学共通テスト出願サイトのマイページ上で確認してください。 ※本学では大学入学共通テストの成績を「WEB方式」で取得します。

■ WEB出願登録前に事前確認することを推奨する内容

●登録する保証人の情報（氏名、出願者との続柄、住所、連絡先等）

事前に保証人の方と相談の上、WEB出願登録を行ってください。

※後述する出願書類「誓約書・同意書」に保証人の方、ご本人にも記載内容を確認し、同意いただいた結果として氏名を自署することになります。そこでサインいただく方の情報をWEB出願上、保証人情報として登録してください。

※保証人情報の利用目的

- ・選抜や各種手続きにおける保証人からの問合せ時の保証人本人確認
- ・入学後の学生管理システムの保証人情報としての登録情報

●出願者本人に関する登録情報

・高等学校もしくは中等教育学校の出身校情報等を入力いただきますので出身校の課程や学科など確認してから出願登録を進めてください。廃校や統廃合で出身校が見つからない場合は「出身校はみつからない場合はこちらから検索」を行い、出身校の都道府県を選択し、「上記以外の高等学校等」を選択してください。

※通信制の出身校の場合は、出身校の設置都道府県が在住の都道府県とは異なる場合があります。

課程：全日制、定時制、通信制、その他

学科：普通、商業、農業、工業、水産、理数、総合、情報、認定、高専、専修、その他

※表示される出身校名は大学入学センターの出身校データを利用しているため、県立などの設置区分や高等学校、高等専門学校などの表記は省略されます。

・ご実家以外にお住まいの場合、現住所とご実家のどちらを登録するかは出願者にお任せします。

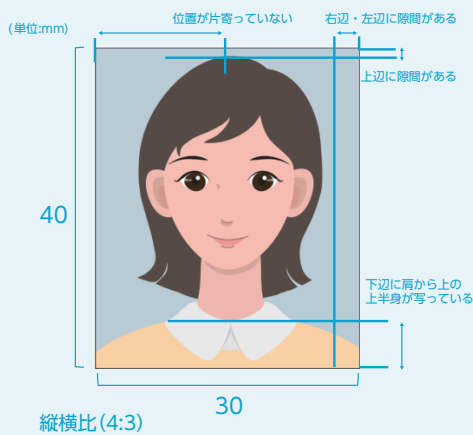
本選抜に関連する一連の入試業務において、出願者宛の郵送物の送付予定はありません。

ただし、奨学金候補生等、入学前の本学郵送物の送付先として利用させていただく場合がありますので、確実に郵送物を出願者が確認できる住所を登録してください。

6-3 顔写真

出願時に提出頂く顔写真は、「入学者選抜(選考)当日の本人確認」と「大学入学後の学生証」の顔写真として利用します。本人証明として利用する大切な写真となるため、以下の条件を満たす顔写真を準備してください。条件を満たす顔写真であれば、所有するデジタルカメラ、スマートフォン、タブレット等を使用して撮影したものでかまいません。

○適当な写真例



◆必須要件

- 2025年5月1日以降に撮影したもの。
- 出願者本人のみが写っているもの。
- 縁なしで左図のイメージを満たすもの。
- 肩から上の上半身が写っており、正面を向いているもの。
- 無帽であるもの。

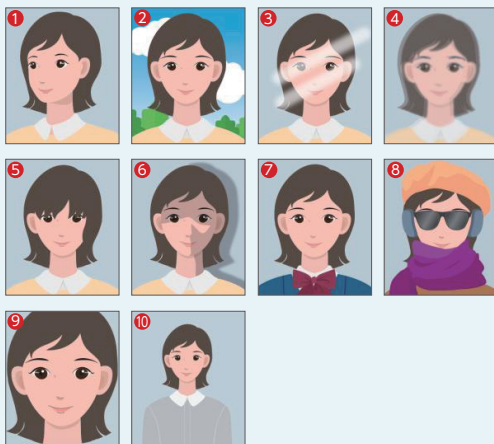
(宗教上又は医療上の理由により要件を満たせない場合、出願前に出願者より大学に申出を行い、大学に事前に認められた場合、顔の輪郭がわかる範囲で頭部を布等で覆うこと許容する)

- 輪郭が露出しているもの。(頭部、両耳、鼻、唇、顎)
- 両目の瞳が確認できるもの。
- 背景(影を含む)は、無地の単色であること。
(学生証が白地であるため単色でも白色は不可)
(単色でも背景色のグラデーションは不可)
(風景やカーテン、模様のある壁紙は不可)
- 鮮明なカラー画像であること。(白黒画像は不可)

◆WEB出願登録写真データ要件

- 写真データはjpeg/png/bitmap/gifのいずれかであること。
- 写真データのサイズ上限が10MB以下であること。

×不適当な写真例



- ① 顔の向きや位置、表情などが適さない。
(傾いている、横向き、目線が正面でない、位置が片寄る、口角があがっており自然体の顔でない等)
- ② 背景が白色を除く無地の単色ではない。
(異物の写り込み、壁の柄模様、頭・髪・服装等と背景の境界が不明瞭なもの)
- ③ 白飛びしているものや照明の反射が写り込んでいるもの。
(照明やフラッシュ等の反射等で、白飛びや瞳が確認できない等の理由で個人が判別できないもの)
- ④ ピンボケや手ぶれで不鮮明である。
- ⑤ 髪で耳などの顔の輪郭が隠れたり、髪が目にかかっている。
- ⑥ 顔や背景に影がある。
- ⑦ 高等学校等の制服や制服に見える服装で撮影されたもの。
- ⑧ 装飾品を着用しているもの。
(帽子やヘアバンド等で頭部が隠れている)
(装飾品で目、耳、鼻、唇等が隠れている)
(マフラーやタートルネック、パーカーのフード等で顎の輪郭を隠している)
(カラーコンタクトや瞳の縁を広げるコンタクトを装着したもの)
- ⑨ 顔によって撮影しすぎており、肩から上の上半身の全体が撮影されていなかったり、必要な隙間を取っていない。
- ⑩ 肩から下の上半身まで写っており、顔が小さすぎるもの。

※この写真は、選抜（選考）の際の本人確認で利用するだけでなく、大学生活4年間で利用する学生証の写真となりますので、出願者の責任において身分証明書に適するものを提出してください。大学から不適当と判断されない限り、WEB出願時から入学前までの変更は受け付けておりません。入学後、学生証の顔写真の変更を希望する場合は、学生課での手続きと再発行手数料が必要となりますが可能です。詳細は大学ホームページ掲載の「学生証の再発行」をご確認ください。

※選抜（選考）時および学生証の身分証明書として利用するため、目を大きく見せたり、美白処理、顔パーツやほくろ、しわ等を修正する等して、本人のイメージを変えたものは不適当です。証明写真作成用アプリを利用する場合においても「画像加工・画像処理」は背景色の変更にとどめてください。

※既にプリントされている証明写真等を再撮影（複写）した画像データは使用できません。

※WEB出願サイトで顔写真をアップロードした際に黒塗の写真になった場合は、顔写真データが指定の形式でない場合があります。データ形式やデータサイズ上限を確認の上、再度アップロードしてください。なお、ファイル名の拡張子の変更のみではデータ形式は変更となりません。データ加工の支援は行いませんので各自で方法をご確認ください。

6-4 WEB出願登録について

WEB出願システムにアカウント登録を行い、WEB出願期間内に希望する選抜に出願登録を行ってください。

●WEB出願システムTOPページ：<https://e-apply.jp/ds/tohoku-gakuin/>

●留意事項

※年度内に既にアカウント登録済みの場合は新たなアカウント登録は不要です。

別選抜で既にアカウント登録済の方はマイページより希望する選抜の出願登録を行ってください。

※出願書類の郵送に必要な「入学志願票」と「本学指定の宛名ラベル」がWEB出願登録後にWEB出願システムのマイページよりダウンロードできるようになります。このため、出願書類を本学に郵送いただく期間を見込んで余裕をもってWEB出願登録を行い、出願書類の印刷及び郵送を行ってください。

※下表で同一の出願期間となっているものは、まとめてWEB出願登録可能です。

選抜制度	WEB出願登録・入学検定料の支払	出願書類の郵送
一般選抜前期日程	2025年12月15日(月) 0:00～ 2026年1月15日(木) 14:59まで	2026年1月6日(火)～ 2026年1月15日(木) 15:00必着
東日本地域別スカラシップ選抜		
大学入学共通テスト 利用選抜前期		
一般選抜後期日程	2025年2月3日(月) 0:00～ 2026年2月17日(木) 14:59まで	2026年2月12日(木)～ 2026年2月17日(火) 15:00必着
大学入学共通テスト 利用選抜後期		



●試験場の選択について

※居住地に関わらず全ての試験場を選択可能です。ご自身の都合に合わせて、受験しやすい試験場を選択いただいてもかまいません。ただし、出願後の試験場の変更はできませんのでご注意ください。

※仙台以外の試験場で志願者が受入定員を超えた場合には、当該試験場への出願登録を制限することがあります。

6-5 入学検定料の支払い

■一般選抜前期日程、東日本地域別スカラシップ選抜

選抜制度		1出願目	2出願目以降 1学科につき
一般選抜前期日程	A日程	30,000円 ^{※2}	15,000円 ^{※1}
東日本地域別スカラシップ選抜			
一般選抜前期日程	B日程	B日程のみ出願	15,000円 ^{※1}
		一般選抜前期日程(A日程)または東日本地域別スカラシップ選抜と併願	15,000円 ^{※1}
		25,000円 ^{※1}	

※1 WEB出願の際、同時に出願登録をした場合のみ割引となります。

※2 東日本地域別スカラシップ選抜への出願は、同時に一般選抜前期日程(A日程)の1出願目への出願として扱われます。このため、一般選抜前期日程(A日程)の1出願目への出願がされたものとして、複数出願した場合には併願割引の対象となります。また、この場合に一般選抜前期日程(A日程)1出願目への入学検定料を別に徴収することはありません。

■ 一般選抜後期日程…………… 30,000円

■ 大学入学共通テスト利用選抜…………… 15,000円

●納入方法

クレジットカード、ペイジーまたはコンビニエンスストアのいずれかを選択できます。

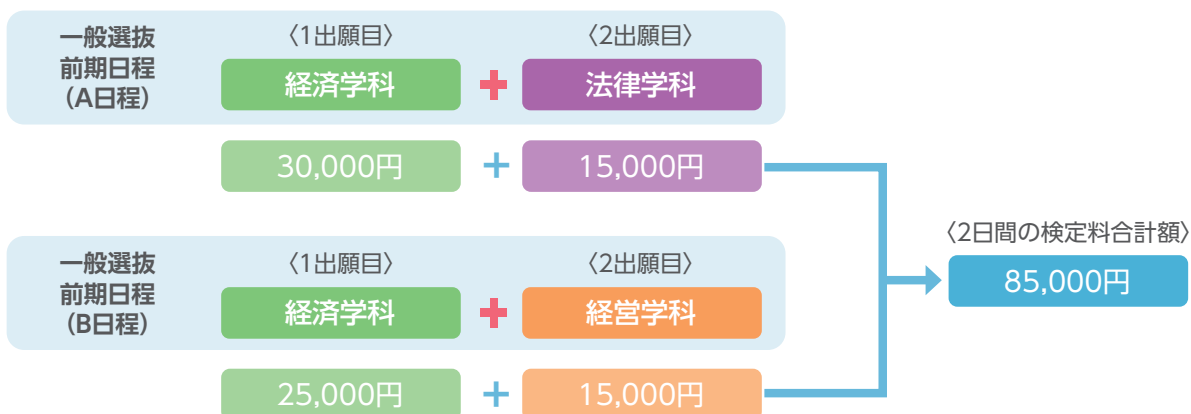
※入学検定料の支払いには手数料が発生し、出願者の負担となります。

※納入された入学検定料はいかなる事由があっても返金いたしません。

一般選抜前期日程における「併願割引」について

一般選抜前期日程において、1日につき3学科まで併願することができ、2学科目以降の出願についての検定料は、「併願割引」されます。具体的な例は以下を参照してください。

【例1】一般選抜前期日程(A日程・B日程)の2日間で3学科出願の例

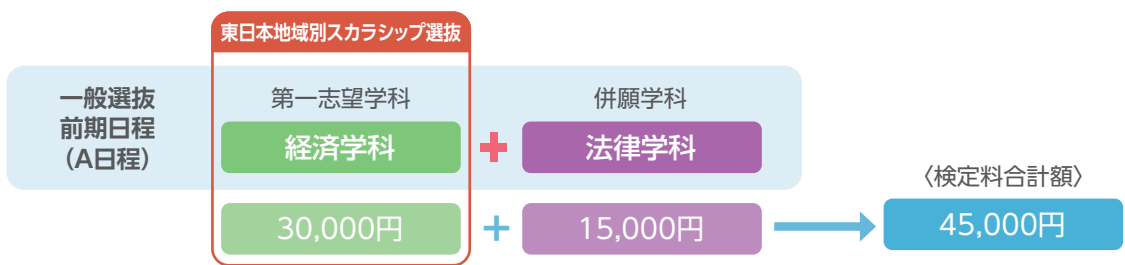


【例2】一般選抜前期日程(B日程)のみの1日で3学科出願の例



東日本地域別スカラシップ選抜に加え、一般選抜前期(A日程)の他学科を併願した場合

【例】



はじめに

一般選抜前期日程概要

一般選抜後期日程概要

スカラシップ選抜概要

大学入学共通テスト利用選抜(前期後期)概要

出願

受験

合格発表と入学手続き

付録

6-6 出願書類の概要

出願書類は選抜制度により異なります。以下の概要と後述する「出願書類の郵送」を確実に確認して、出願書類を提出してください。

凡例：◎=必須提出 ○=条件により提出が必要

No.	出願書類名	一般選抜 前期日程	一般選抜 後期日程	東日本地域別 スカラシップ選抜	大学入学共通テスト 利用選抜前期	大学入学共通テスト 利用選抜後期
D1	入学志願票	◎	◎	◎	◎	◎
D2	誓約書・同意書	◎	◎	◎	◎	◎
D3	出身校の調査書等	◎	◎	◎	◎	◎
D4	志望理由書	◎	◎	◎	◎	◎
D5	英語資格・検定試験 公式スコア(写し)	○	—	—	—	—
D6	住民票の写し			○		
Y1-1	角型2号(角2)封筒 (サイズ:240mm×332mm)	◎	◎	◎	◎	◎
Y1-2	本学指定の宛名ラベル	◎	◎	◎	◎	◎

※本学では大学入学共通テストの成績を「WEB方式」で取得するため、大学入学共通テスト成績請求票の貼付は不要です。

6-7 出願書類の郵送

角2封筒(Y1-1)に本学指定の宛名ラベル(Y1-2)を貼り付けしたものに、以下に記載する出願書類を同封し、簡易書留と速達を利用し出願書類一式を本学に郵送してください。

No.	出願書類	様式入手方法	特に留意すること	印刷
D1	入学志願票	WEB出願システム [出願登録後]	—	白用紙/A4/片面 /カラー
D2	誓約書・同意書	募集要項サイト	※1.手書き	白用紙/A4/片面
D3	出身校の調査書等	出身校より取り寄せ	※1.3ヵ月以内に発行されたもの ※2.厳封(開封無効) ※3.出願資格により提出する書類 が異なります。詳細は後述す る「出願書類提出の留意事項」 をご確認ください。	出身校の書式による
D4	志望理由書	募集要項サイト	※1.手書き ※2.複数出願の場合でも第一志望 学科に対する志望理由のみで 構いません	白用紙/A4/片面

No.	出願書類	様式入手方法	特に留意すること	印刷
D5	英語資格・検定試験公式スコア(写し)	英語資格・検定試験運営団体発行のものをコピー	※1.一般選抜前期日程(B日程)の志願者で、かつ英語資格・検定試験公式スコアを利用する方のみ提出してください。 ※2.提出がなくとも一般選抜前期日程(B日程)の出願は可能です。 ※3.英語資格・検定試験公式スコアの詳細は後述する「出願書類提出の留意事項」をご確認ください。	白用紙/A4/片面
D6	住民票の写し	お住いの市町村が発行するもの	※1.東日本スカラシップ選抜に出願する場合で、受験生の出身校及び居住地の条件により提出が必要になります。詳細は後述する「出願書類提出の留意事項」をご確認ください。	市町村の書式による
Y1-1	角型2号(角2)封筒(サイズ:240mm×332mm)	市販のものを各自で準備		
Y1-2	本学指定の宛名ラベル	WEB出願システム[出願登録後]	※1.D1「入学志願票」の2ページ目	

■ 出願書類の提出部数について

同一の出願期間の選抜を併願する場合や複数学科を出願する場合に、それら複数の出願を一回のWEB出願登録で行った場合には、出願書類は1部のみを郵送してください。

WEB出願登録を完了後に、別のWEB出願登録を行った際には、別の受験者と扱われるため、別途全ての出願書類の郵送が必要となります。

6-8 出願書類提出の留意事項

■ 全般

出願書類提出の共通の留意事項を以下に記載します。

1. 出願書類の記載内容は正確に記入してください。不備等がある場合、本学より確認の連絡を行いますが、不備の解消ができない場合は、出願書類を受理しないことがあります。
2. 提出された出願書類はいかなる事由があっても返還いたしません。提出前に出願者にて複写することを推奨します。
3. 写しと記載のある出願書類以外は原本を提出してください。(コピー不可)
4. 出願書類が郵送期間初日以前に本学へ届いた場合、大学で保管し出願の郵送期間初日に受け取ります。
5. 出願書類の到着確認は対応しておりません。利用した郵送サービスにてご確認ください。
6. 出願書類の郵送期間最終日の指定時刻より遅く到着した出願書類は受理されません。
7. WEB出願登録・入学検定料の支払い・出願書類の郵送の全てが出願期間内に完了いただくことで出願を受理します。WEB出願登録のみ完了等、一部の手続きのみ実施完了している場合も出願は受理しません。

● 募集要項サイト (本学指定様式ダウンロードページ)

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/admissions/guidebook.html>



■ D3 「出身校の調査書等」について

出願資格により提出する書類が異なります。

出願資格	証明書の種類
高等学校卒業(見込み)者 中等教育学校卒業(見込み)者 高等専門学校第3学年修了(見込み)者 在外教育施設の当該課程修了(見込み)者	●「調査書」1部 卒業後の年数経過等により「調査書」の発行ができない場合、代わりに「卒業(修了)証明書」と「成績証明書」(「成績証明書も発行できない場合は「卒業(修了)証明書」のみ)をご用意ください。 また、上記の各書類が発行されなかった理由(年月経過等)を記述した用紙等を同封してください(様式自由)。
外国において12年の課程を修了した者 (または 修了見込みの者)、およびこれに準ずる者	●「修了(見込み)証明書」および「成績証明書」各1部 日本の高等学校に在籍した場合は、在籍中の「成績証明書」もあわせてをご用意ください。
高等学校卒業程度認定試験合格(見込み)者 大学入学資格検定合格者	●「合格成績証明書」1部 (見込み者は「合格見込成績証明書」)

■ D5 「英語資格・検定試験公式スコア(写し)」について

利用可能な英語資格・検定試験公式スコアと証明書は以下の通りです。

英語資格・検定試験名	証明書の種類
ケンブリッジ英語検定	認定証または結果ステートメント
英検	合格証明書または英検CSEスコア証明書
GTEC	「GTEC」OFFICIAL SCORE CERTIFICATE
TOEIC L&R/TOEIC S&W	公式認定証(Official Score Certificate)
TOEFL iBT	Official Score Report 出願時は「Test Taker (Examinee) Score Report」も可)
IELTS	成績証明書(Test Report Form)
TEAP	成績表(official score report)
TEAP CBT	成績表(official score report)

【注意事項】

- ① 利用できるのは4技能を対象とした形式の公式スコアに限ります。
- ② 出願資格となる英語資格・検定試験は出願する入試の実施日からさかのぼって2年以内(2024年2月2日以降)に受験したスコアを有効とします。
- ③ 出願資格を証明する書類について、出願資格に定めるスコアを複数所有している場合でも、1つに限り提出してください。
- ④ 試験実施機関から提出書類を直送できる制度は利用しておりません。
- ⑤ 異なる実施回の各スコアを組み合わせることはできません。TEAPは同試験日の合計点のみを有効とします。複数回受験した場合でも各技能の最高点の合算は行いません。
- ⑥ 英検は合格証明書またはCSEスコア証明書のどちらかを提出してください。
- ⑦ 英語の合格証明書は英文または和文のどちらかを提出してください。

■ D7「住民票の写し」について

下表のNo.2 または No.3 に該当する方は提出が必要です。

No.	出身校及び居住地の状況	証明書の種類
1	2026年3月卒業見込みの出願者において、在籍している高等学校もしくは中等教育学校の所在地が対象11道県に該当する。	不要 (調査書に記載の高等学校もしくは中等教育学校の所在地にて判断します。)
2	2026年3月卒業見込みの出願者において、在籍している高等学校もしくは中等教育学校の所在地が対象11道県に該当しないが、出願者本人の住民票の住所が対象11道県に該当する。	必要
3	2025年3月以前に高等学校もしくは中等教育学校を卒業した出願者において、出願者本人の住民票の住所が対象11道県に該当する。	必要

※対象11道県とは北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県を指します。

7 | 受験

7-1 受験票印刷

本学からは受験票を郵送しておりません。

受験票は、WEB 出願サイトのマイページで以下の日程でダウンロードできるようになります。

ダウンロードした受験票を出願者にて印刷し、試験当日に持参してください。

■ 受験票ダウンロード開始予定日

選抜制度	日 程
一般選抜前期日程	2026年1月27日(火)
東日本地域別スカラシップ選抜	
大学入学共通テスト利用選抜前期	
一般選抜後期日程	2026年2月26日(木)
大学入学共通テスト利用選抜後期	

※ WEB 出願サイトに受験票を登録次第、出願時に登録頂いたメールアドレスに通知します。

ただし、上記の日程の翌日になってもメールが届かない場合、マイページにログインし、受験票が登録されているか確認をしてください。受験票が確認できない場合は、入試部までご連絡ください。

※ 大学入学共通テスト利用選抜では本学独自の個別学力検査は行いません。ただし、受験票は合格発表時に必要となりますので必ずご確認ください。

- WEB 出願 TOP ページ <https://e-apply.jp/ds/tohoku-gakuin/>



- 受験番号別試験会場一覧

受験票のダウンロード日に合わせて、受験者ごとの試験場内の建屋・教室情報を本学入試ホームページ上で公開します。各自確認の上、後述する集合時間までにお越しください。なお、受験番号は受験票に記載しておりますのでご確認ください。

- 入試・入学案内トップページ <https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/>



7-2 選抜日程

■ 一般選抜前期日程

日程	試験日	集合時間	英語	2科目	試験場
A日程	2026年2月1日(日)	9:30	10:00～11:00	12:30～14:30	仙台 札幌 函館
B日程	2026年2月2日(月)				青森 八戸 盛岡 秋田 山形 鶴岡 福島 郡山 東京

※全学部全学科共通です。

※出願後の試験場の変更はできませんのでご注意ください。

■ 東日本地域別スカラシップ選抜

一般選抜前期日程(A日程)と同一です。

■ 一般選抜後期日程

試験日	集合時間	2科目	試験場
2026年3月4日(水)	9:30	10:00～12:00	仙台

※全学部全学科共通です。

■ 大学入学共通テスト利用選抜

大学入学共通テスト利用選抜受験者に対して本学独自の試験は行いません。大学入学共通テストについては、大学入試センターの受験票等をご確認ください。

7-3 受験上の注意

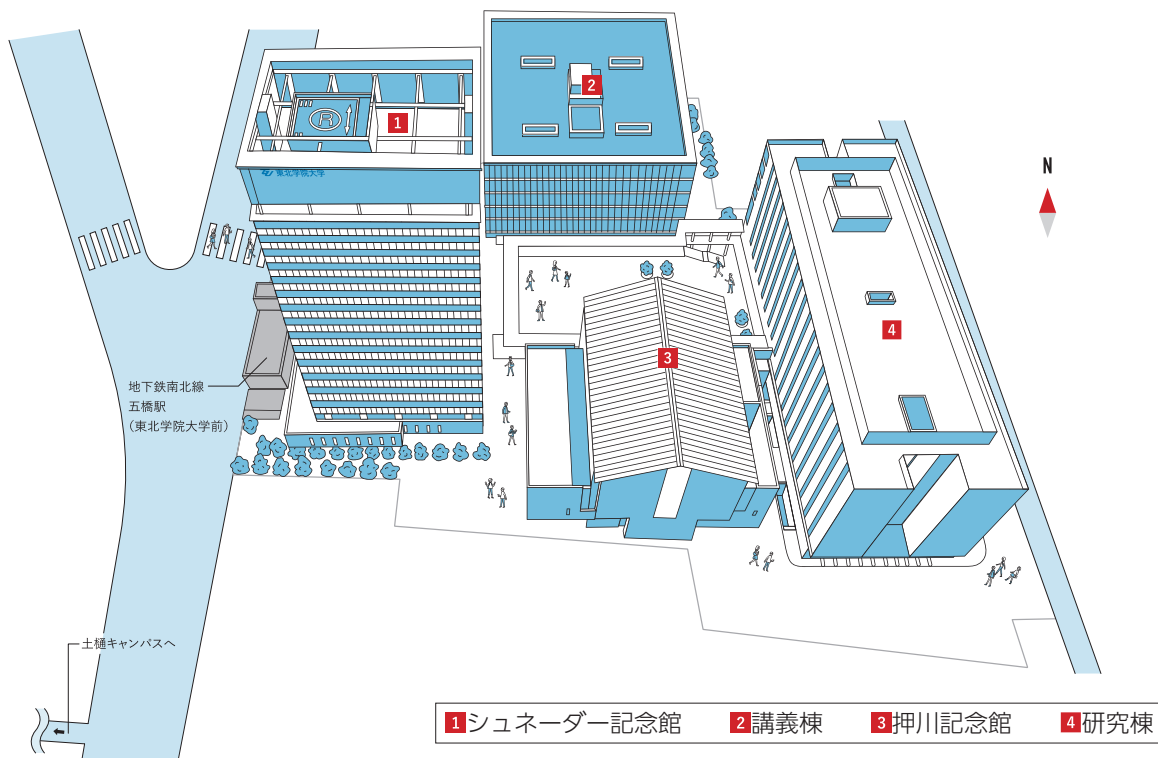
- 試験場の下見のため事前に試験場内に入ることは認めておりません。
- 試験時間の30分前(9:30)までには試験場に入室してください。また、試験当日は、交通機関の乱れなど不測の事態に備えて、時間に余裕を持って行動してください。
- 受験票は、各自印刷し試験当日必ず持参し、入構の際に提示してください。
受験票を忘れた場合は、すみやかに係員に申し出てください。
- 試験開始後30分以上遅刻した場合は、原則として受験できません。
ただし、自然災害などの不可抗力の事態が発生した場合は、特別の措置を講じることがあるので、すみやかに試験本部連絡先まで連絡して指示を受け、試験場到着後ただちに係員に申し出てください。
試験本部：022-263-9214
(※試験当日のみ通話できます。)
- 試験場では静粛を保ち、係員、監督者の指示に従ってください。
- 試験場で机上に置くことができるのは次のものに限り、
① 受験票(監督者に見やすいように置いてください)
② 鉛筆、鉛筆キャップ、鉛筆削り、シャープペンシル、消しゴム
③ 計時機能のみの時計(スマートフォン携帯電話ウェアラブル端末等の使用は不可)
④ ティッシュペーパー(袋から取り出したもの)
- 英語と情報の試験は、全問マークシート方式です。国語や物理、化学の試験は一部マークシート方式で行います。受

験の際は、必ず鉛筆(HまたはHB)と消しゴムを持参してください。

- (8) 解答用紙には、受験番号を正しく記入してください。また、氏名は絶対に記入しないでください。氏名を記入した解答用紙は、採点しないことがあるので注意してください。
- (9) 選択の試験では、選択した科目がわかるように、所定の欄のマークまたは科目名を必ず記入してください。
- (10) 問題についての質問は、原則として受け付けません。
- (11) 試験途中の退室は原則として認めません。やむを得ない事情の場合は、監督者の指示に従ってください。
- (12) 不正行為があると認められた受験生に対しては、ただちに受験を停止させ、失格とします。
- (13) 昼休みの時間は短いので、試験当日の昼食は各自持参してください。(一般選抜前期日程および東日本地域別スカラシップ選抜)
- (14) 上履きは必要ありません。
- (15) 試験場は全て禁煙です。

7-4 試験場詳細

試験場	試験会場・交通機関	案内図
仙台	<p>東北学院大学五橋キャンパス 仙台市若林区清水小路3-1</p> <p>①JR「仙台駅」から徒歩約15分 ②地下鉄南北線「五橋駅(東北学院大学前)南2出口」直結 ③バス停「五橋駅」から徒歩約1分</p>	



1 シュネーダー記念館 2 講義棟 3 押川記念館 4 研究棟

■ 地方会場案内 (一般選抜前期日程／東日本地域別スカラシップ選抜 ※一般選抜後期日程は除く)

試験場	試験会場・交通機関	案内図
札幌	<p>札幌商工会議所 (北海道経済センター) 札幌市中央区北一条西二丁目</p> <p>①JR「札幌駅」南口から徒歩10分 ②地下鉄「大通駅」から徒歩5分</p>	
函館	<p>函館北洋ビル 函館市若松町15-7</p> <p>JR「函館駅」から徒歩2分</p>	
青森	<p>アスパム(青森県観光物産館) 青森市安方一丁目1-40</p> <p>JR「青森駅」から徒歩15分</p>	
八戸	<p>ユートリー 八戸市一番町一丁目9-22</p> <p>JR「八戸駅」東口から徒歩1分</p>	

はじめに

一般選抜前期日程概要

一般選抜後期日程概要

東日本地域別スカラシップ選抜概要

大学入学共通テスト利用選抜(前期後期)概要

出願

受験

合格発表と入学手続き

付録

試験場	試験会場・交通機関	案内図
盛岡	<p>アイーナ (いわて県民情報交流センター) 盛岡市盛岡駅西通一丁目7-1 JR「盛岡駅」から徒歩4分</p>	
秋田	<p>秋田県総合保健センター 秋田市千秋久保田町6-6 JR「秋田駅」から徒歩5分</p>	
山形	<p>大手門パルズ 山形市木の実町12-37 ①JR「山形駅」東口から徒歩12分 ②山交バス「霞城公園前」から徒歩1分</p>	
鶴岡	<p>東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町2-10 JR「鶴岡駅」から徒歩3分</p>	

試験場	試験会場・交通機関	案内図
福 島	<p>ラコパふくしま 福島市仲間町4-8</p> <p>①JR「福島駅」から徒歩15分 ②福島交通「新浜公園」から徒歩2分</p>	
郡 山	<p>郡山市労働福祉会館 郡山市虎丸町7-7</p> <p>①JR郡山駅西口より徒歩20分 ②JR郡山駅前より福島交通バス「市役所経由静団地・静御前堂行」乗車(5分)「第二中学校」下車徒歩2分</p>	
東 京	<p>TKP新宿カンファレンスセンター 東京都新宿区西新宿1丁目14-11 Daiwa西新宿ビル</p> <p>JR「新宿駅」南口から徒歩5分</p>	

はじめに

一般選抜前期日程概要

一般選抜後期日程概要

スカラシップ選抜概要

大学入学共通テスト
利用選抜(前期後期)概要

出 願

受 験

合格発表と入学手続き

付 録

8 合格発表と入学手続き

8-1 合否照会システムとWEB出願サイト

合否照会は、合否照会システムとWEB出願サイトのいずれかで行えます。

●合否照会システム

合否照会の簡易システムで、受験番号を利用し、一時的に合否照会できるものとなります。

利用詳細は、後述の「合否照会システム」をご確認ください。

●WEB出願サイト（入学手続き機能）

出願時に利用したアカウントを利用し、「合格通知書」等を確認できます。

8-2 合格発表日

一般選抜前期日程	
東日本地域別スカラシップ選抜	2026年2月13日(金) 10:00
大学入学共通テスト 利用選抜前期	
一般選抜後期日程	
大学入学共通テスト 利用選抜後期	2026年3月13日(金) 10:00

インターネット上のみで合格発表を行います（大学から合格通知書の郵送は行いません。）

合格発表日時以降、以下の内容が公開されますので各自で確認ください。

- ① 合否照会システムを利用したパソコン、スマートフォンで合否の確認
- ② WEB出願サイトのマイページにログインし、「合格通知書」のダウンロード（2026年03月迄可）

ただし、合否照会システムは合格発表日より5日程度しか利用できません。以降の結果確認については、②WEB出願サイトの「合格通知書」をご確認ください。

※不合格の場合は「合格通知書」が表示されません。

8-3 合否照会システム

合否照会システムは、すべての選抜で利用しているため、合否照会システム利用期間外でも稼働しているように見える場合があります。

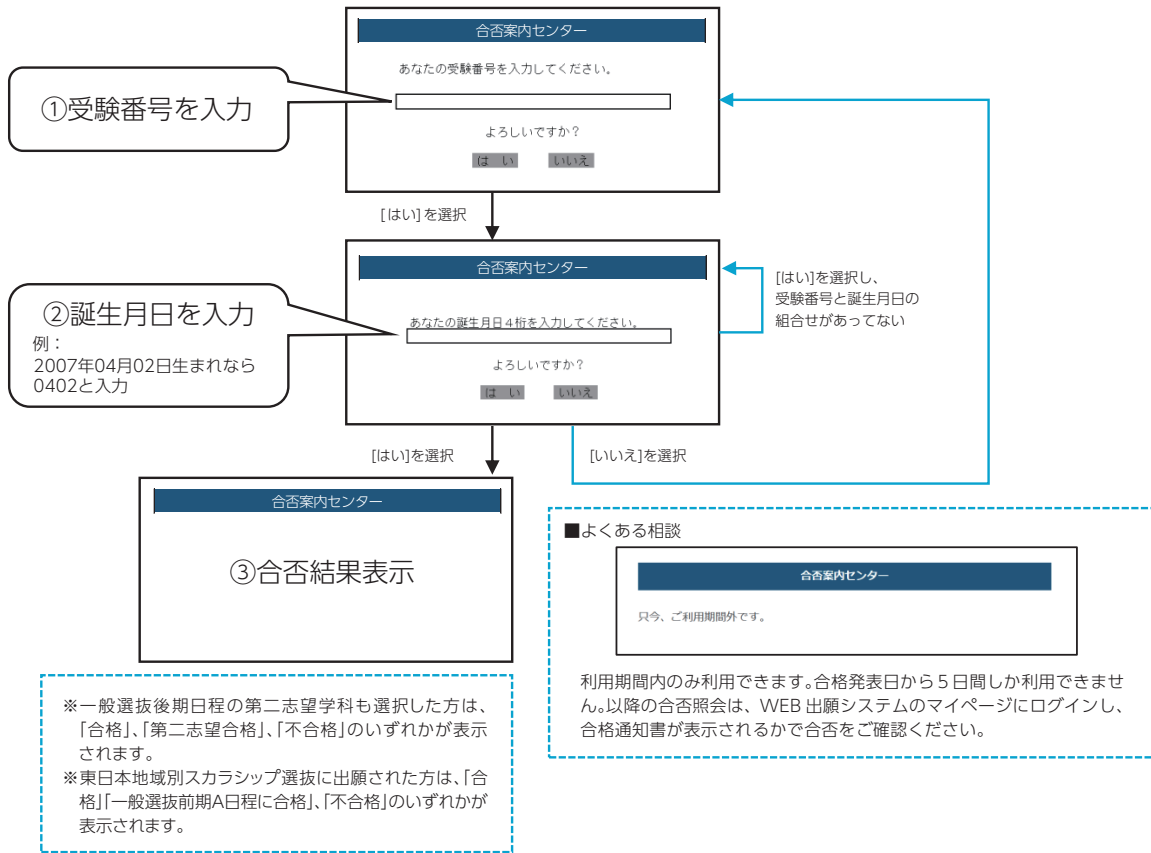
●合否照会システム URL

<https://www.gouhi.com/tohoku-gakuin/>



■ 利用方法

上記のURLのサイトにアクセスし、受験番号(6桁)と誕生日(4桁)を利用し、合否を照会ください。



■ 受験番号の確認方法

- ① 一般選抜、東日本地域別スカラシップ選抜、大学入学共通テスト利用選抜で合否照会システムを利用する際には「学科別受験番号」を使用します。「学科別受験番号」は受験票に記載しております。下図の受験票見本の該当箇所を確認してください。

東北学院大学 受験票

受験番号	111001
氏名	ガクイン タロウ 学院 太郎
入試	一般選抜前期A日程
試験日	2026年2月1日(日)
試験会場	仙台
学科別受験番号	志望学部学科
	111001 文学部英文学科 121001 経済学部経済学科 131001 経営学部経営学科

学科別受験番号→

- ② 操作方法や受験番号等に関する問い合わせには応じられません。受験生本人以外の方が本システムをご利用の際は、必要事項をあらかじめ本人に確認し了承の上、ご利用ください。

■ 利用上の注意

- (1) 本システムの「誤操作」等を理由とした、入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。
- (2) 合格発表日(案内開始直後)は、WEBでの通信が遅くなる恐れがあります。そのような場合は少し時間をずらしてご利用ください。
- (3) 本学への電話等による評価、成績に関する直接の問い合わせには一切応じられません。
- (4) 個人情報の観点により、大学への受験番号の問い合わせには応じられません。
保証人の方に共有したい場合などは、出願者より必要な情報を提供してください。
受験生本人以外の方が本システムをご利用の際は、あらかじめ本人と確認・了承をとってください。
- (5) 選抜別の合否照会システムの照会期間は変更となることがあります。その際は本学のホームページ上にてお知らせいたします。

8-4 入学手続きについて

入学手続は、入学時納付金の納入によって完了となります。詳細は入学手続きサイトに掲載される「入学手続要項」を参照してください。



●新入生の皆さんへ <https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/admission/prepare/>

■ 手続方法

手続方法には、「全納」と「分納」の二つの方法があります。

手続方法		内 容
全 納		入学時納付金の全額納入
分 納	第一次手続	入学金の納入
	第二次手続	入学金を除く納付金の納入

■ 入学手続日程

手続方法と手続期限が選抜制度により異なりますのでご注意ください。

選抜制度	手続方法	書類提出期限	
一般選抜前期日程	全 納	2026年2月20日(金) 15:00必着	
	分 納	第一次手続	2026年2月20日(金) 15:00必着
		第二次手続	2026年3月10日(火) 15:00必着
東日本地域別スカラシップ選抜	全 納	2026年2月20日(金) 15:00必着	
大学入学共通テスト 利用選抜前期	全 納	2026年2月20日(金) 15:00必着	
	分 納	第一次手続	2026年2月20日(金) 15:00必着
		第二次手続	2026年3月10日(火) 15:00必着
一般選抜後期日程	全 納	2026年3月24日(火) 15:00必着	
大学入学共通テスト 利用選抜後期	全 納	2026年3月24日(火) 15:00必着	

東北学院について

東北学院の建学の精神

東北学院の三校祖、押川方義、W・E・ホーイ、D・B・シュネーダーは、東北学院の建学の精神を、宗教改革の「福音主義キリスト教」の信仰に基づく「個人の尊厳の重視と人格の完成」の教育にあるとした。その教育は、聖書の示す神に対する畏敬の念とイエス・キリストにならう隣人への愛の精神を培い、文化の発展と福祉に貢献する人材の育成を目指すものである。

本学教育の理念・目的

(東北学院大学学則第1章第1条)

東北学院大学は、キリスト教による人格教育を基礎として、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、もって世界文化の創造と人類の福祉に寄与することを目的とする。

スクールモットー「LIFE LIGHT LOVE」

東北学院の「建学の精神」を象徴するスクールモットー、「LIFE LIGHT LOVE」とは、イエス・キリストの「命(いのち)」・「光(ひかり)」・「愛(あい)」を指します。キリストの命が私たちに与えられ、キリストの光が私たちに照らし、キリストの愛が私たちに包んでいます。

それゆえ私たちがまた人々の命のために仕え、人々に光を与えるために働き、人々を自分のように愛するのです。これは聖書を根拠にした本院に関係するすべての人々に対する教えであり、本院の創設時から大切にされてきた言葉です。

LIFE (いのち)とは、有限な生命体の命と、神が自らの似姿として創造された個人の尊厳を互いに大切にすることです。

LIGHT (ひかり)とは、学問や科学の成果によって新しい時代を切り開くことです。

LOVE (あい)とは、隣人愛をもって地域や世界に仕えることです。

東北学院大学の教学上の3つの方針について

本学では、アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの3つのポリシーがあり、これらのポリシーはそれぞれ全学部共通と学部別の2種類があります。

入学者選抜はアドミッション・ポリシーに基づき実施しますので、以下のサイトよりご確認、ご理解いただいた上で出願してください。

① 全学部共通の入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/about/information/aim/teach_3.html

② 全学部共通の学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/about/information/aim/teaching.html>

③ 全学部共通の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/about/information/aim/teach_2.html

文学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
文学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2	文学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、文学部各学科における主体的な学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度） (英 文 学 科) 英語力を向上させ、英米文学・言語学を学ぼうとする意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための学修に主体的に取り組もうとしている。 (総合人文学科) 思想・哲学、文化・芸術、宗教・神学等の人文諸学を学ぼうとする意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための学修に主体的に取り組もうとしている。 (歴 史 学 科) 歴史学をグローバルかつローカルな視点から学ぼうとする意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための学修に主体的に取り組もうとしている。 (教 育 学 科) 人間の発達・学習に関する事象と教育の実践について学ぼうとする意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための学修に主体的に取り組もうとしている。
	3	高等学校における学習によって、文学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。（知識・技能）
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
		以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
	5	スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）

●文学部「教学上の方針」

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/letters/about/policy.html>



文学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目No.が上記の文学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	アドミッション・ポリシー項目No.	選抜制度別の重要評価点											
		本学が実施する各選抜制度は、入学受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように(◎:特に重視、○:重視)重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
学業成績による推薦	キリスト者等推薦				資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦					
文学部	1	○	○	○	○	◎		○	○	◎	○	○	○
	2	○	○	◎	◎	○		○	○	○	○	○	○
	3	◎	◎	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	4	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	5	—	—	—	—	—		◎	◎	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—		—	—	—	◎	◎	◎

経済学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
経済学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
	2	経済学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、経済に関する社会事象を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
	3	高等学校における学習によって、経済学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。(知識・技能)
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
		以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
	5	スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)
6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)	

●経済学部「教学上の方針」

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/economics/about/policy.html>



経済学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目No.が上記の経済学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	アドミッション・ポリシー項目No.	選抜制度別の重要評価点											
		本学が実施する各選抜制度は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように(◎:特に重視、○:重視)重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
学業成績による推薦	キリスト者等推薦				資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦					
経済学部	1	○	○	○	○	◎		○	○	◎	○	○	○
	2	○	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3	◎	◎	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	4	◎	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	5	—	—	—	—	—		◎	◎	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—		—	—	—	◎	◎	◎

経営学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
経営学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム（聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など）について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	2	経営学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、組織体の経営に関する社会的事象を理解しようとする意欲を有し、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。（主体的に学ぶ態度）
	3	高等学校における学習によって、経営学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。（知識・技能）
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。（思考力・判断力・表現力）
	5	以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。 スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）
	6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。（知識・技能／主体的に学ぶ態度）

●経営学部「教学上の方針」

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/business/about/policy.html>



経営学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目No.が上記の経営学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	アドミッション・ポリシー項目No.	選抜制度別の重要評価点											
		本学が実施する各選抜制度は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように（◎：特に重視、○：重視）重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
学業成績による推薦	キリスト者等推薦				資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦					
経営学部	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5	—	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○

法学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
法学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
	2	法学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、法・政治に関する社会事象を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
	3	高等学校における学習によって、法学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。(知識・技能)
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
		以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
	5	スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)
	6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)

●法学部「教学上の方針」

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/law/about/policy.html>



法学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目No.が上記の法学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	アドミッション・ポリシー項目No.	選抜制度別の重要評価点											
		本学が実施する各選抜制度は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように(◎:特に重視、○:重視)重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
学業成績による推薦	キリスト者等推薦				資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦					
法学部	1	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	2	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	3	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	4	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	5	—	—	—	—	—		○	○	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—		—	—	—	○	○	○

工学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
工学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
	2	科学技術に関する広い知識の獲得に意欲があり、工学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、工学部各学科における主体的な学びを通して社会に貢献すること強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度) (機械知能工学科) 機械を学び、理解し、創造することへの強い関心と意欲があり、それらを遂行するために必要な基礎知識を有するとともに、社会の一員としての自覚を有している。 (電気電子工学科) 電力・制御系、情報・通信系、電子・材料系に関する広い知識の習得に意欲があり、これらの分野の学びを通して社会に貢献することを強く望んでいる。 (環境建設工学科) 環境、土木、建築分野で不可欠な科目(数学、力学、計画、設計製図、実験など)を学ぶ強い意志があり、これらの分野の技術者として、社会への貢献を希望している。
	3	高等学校における学習によって、工学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを活用する力を有している。(知識・技能)
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
		以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
	5	スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)
6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)	

●工学部「教学上の方針」

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/engineering/about/policy.html>



工学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目No.が上記の工学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	アドミッション・ポリシー項目No.	選抜制度別の重要評価点											
		本学が実施する各選抜制度は、入学受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように(◎:特に重視、○:重視)重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
学業成績による推薦	キリスト者等推薦				資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦					
工学部	1	○	○	○	○	◎		○	○	◎	○	○	○
	2	○	○	◎	◎	◎		◎	◎	○	◎	◎	◎
	3	◎	◎	○	○	○		○	○	○	○	○	○
	4	○	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	5	—	—	—	—	—		◎	◎	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—		—	—	—	◎	◎	◎

地域総合学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
地域総合学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
	2	地域総合学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、地域に関する自然・社会事象及び政策を学ぼうとする関心と意欲を持ち、地域が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
	3	高等学校における学習によって、地域総合学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。(知識・技能)
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
		以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
	5	スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)
6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)	

●地域総合学部「教学上の方針」

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/regional/about/policy.html>



地域総合学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目No.が上記の地域総合学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	アドミッション・ポリシー項目No.	選抜制度別の重要評価点											
		本学が実施する各選抜制度は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように(◎:特に重視、○:重視)重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
学業成績による推薦	キリスト者等推薦				資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦					
地域総合学部	1	○	○	○	○	◎		○	○	◎	○	○	○
	2	○	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3	◎	○	◎	◎	○		○	○	○	○	○	○
	4	◎	◎	○	◎	◎		○	○	○	○	○	○
	5	—	—	—	—	—		◎	◎	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—		—	—	—	◎	◎	◎

情報学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
情報学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
	2	情報学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、情報・データサイエンスに関する社会事象を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
	3	高等学校における学習によって、情報学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。(知識・技能)
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
		以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
	5	スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)
	6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)

●情報学部「教学上の方針」

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/informatics/about/policy.html>



情報学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目No.が上記の情報学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	アドミッション・ポリシー項目No.	選抜制度別の重要評価点												
		本学が実施する各選抜制度は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように(◎:特に重視、○:重視)重視する。												
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜	
学業成績による推薦	キリスト者等推薦				資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦						
情報学部	1	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	◎	○	○	○
	2	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3	○	○	◎	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	○
	4	○	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	5	—	—	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	◎	◎	◎
	6	—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	◎	◎	◎

人間科学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
人間科学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
	2	人間科学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、人間の行動とその心理過程、及びそれらを規定する諸要因を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間の心と身体、社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
	3	高等学校における学習によって、人間科学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。(知識・技能)
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
		以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。
	5	スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)
6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)	

●人間科学部「教学上の方針」

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/human/about/policy.html>



人間科学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目No.が上記の人間科学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	アドミッション・ポリシー項目No.	選抜制度別の重要評価点											
		本学が実施する各選抜制度は、入学者受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように(◎:特に重視、○:重視)重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
学業成績による推薦	キリスト者等推薦				資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦					
人間科学部	1	○	○	○	○	◎		○	○	◎	○	○	○
	2	○	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3	○	○	◎	◎	○		○	○	○	○	○	○
	4	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	5	—	—	—	—	—		◎	◎	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—		—	—	—	◎	◎	◎

国際学部アドミッション・ポリシー

学部	項目	学部アドミッション・ポリシー
国際学部	1	東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体性を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
	2	国際学部の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、国際化に関する社会事象を学ぼうとする関心と意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
	3	高等学校における学習によって、国際学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。(知識・技能)
	4	高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)
	5	以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。 スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)
	6	外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能／主体的に学ぶ態度)

●国際学部「教学上の方針」

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/faculty/international/about/policy.html>



国際学部アドミッション・ポリシーと選抜制度別重点評価の関連表

以下の表の項目No.が上記の国際学部アドミッション・ポリシーの項目を示します。

学部	アドミッション・ポリシー項目No.	選抜制度別の重要評価点											
		本学が実施する各選抜制度は、入学受け入れ方針に定めた各評価点について、次のように(◎:特に重視、○:重視)重視する。											
		一般選抜	大学入学共通テスト利用選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜						帰国生特別選抜	外国人留学生特別選抜	社会人特別選抜
学業成績による推薦	キリスト者等推薦				資格取得推薦	スポーツ推薦	文化活動推薦	TG併設校推薦					
国際学部	1	○	○	○	○	◎		○	○	◎	○	○	○
	2	○	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
	3	◎	◎	○	◎	○		○	○	○	○	○	○
	4	◎	◎	◎	○	○		○	○	○	○	○	○
	5	—	—	—	—	—		◎	◎	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	—		—	—	—	◎	◎	◎

学科の理念・目的、求める学生像①

学部	学科	理念・目的	求める学生像
文学部	英文学科	国際語としての地位にある英語の運用能力の涵養をはかるとともに、他文化・他者性に対して鋭敏な感覚を育むことで、多元的な文化に寛容な真の国際人を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛である。 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができる。 英語を含む外国語学習に強い意欲をもち実践をしている。 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっている。
	総合人文学科	キリスト教に基づく人間形成を中心に、古今の書物との対話を通して現実世界との関わりを問直し、変化する世界において自己を見失わず、しかも他者との相互理解・共生を可能とする強固な知的・精神的基礎をもった人材を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> 十分な基礎学力を有し、とくに英語については充実した力を備えている。 十分な読解力を有し、自分の考えを論理的に表現することができる。 社会に対して強い関心を持ち、積極的にかかわろうとする姿勢を有している。 思想・哲学、文化・芸術、宗教・神学などの人文諸学に関心を持ち、本学科での勉学に強い意欲を有している。
	歴史学科	広い歴史知識と歴史的な考え方を身につけ、現代社会をグローバルかつ歴史的に理解するとともに、地域の問題を広い視野から考える実践的な能力を養う。	<ol style="list-style-type: none"> 幅広い知識を吸収できる柔軟な思考と十分な基礎学力を有している。 好奇心旺盛で、自分から率先して学び調べようとする積極性がある。 歴史に関する基礎知識を有している。 本学科で何を学びたいのか、目的がはっきりしている。
	教育学科	人がよりよく生きるための学びと人間の成長を支援することができる、豊かな知識・技能・姿勢を備えた人物を養成する。	<ol style="list-style-type: none"> 十分な基礎学力を有し、知的好奇心が旺盛である。 論理的な思考力を有し、自分の言葉で自分の考えを明確に説明することができる。 人の学びと教育に関して、強い関心を持っている。 本学科のカリキュラムを十分に理解し、4年間の勉学に関するプランをもっている。
経済学部	経済学科	キリスト教精神と幅広い教養教育を基礎に、経済学の専門知識を修得し、時代に流されず、先を見通す経済社会の理論とスキルを身に付け、多方面において社会に貢献できる人材を養成する。	<ol style="list-style-type: none"> 十分な基礎学力を有し、物事を論理的に考え自分の意見を明確に主張することができる。 現代社会の動きに強い関心を持ち、それについて深く調べたいと考えている。 社会とは何か、とくに経済とは何かという問題に対して、探求したいという強い意欲をもっている。 本学科の開講科目に強い関心を持ち、学ぶ目的がはっきりしている。
経営学部	経営学科	経営学の知識に基づき、企業や地域社会の問題を解決できるようになるとともに、キリスト教からの学びを活かしながらよきビジネスパーソンとして自らのキャリアを切り拓いていくことのできる能力を養う。	<ol style="list-style-type: none"> 十分な基礎学力を有している。 本学科への志望動機が明確であり、入学後何を学ぶのか、それを将来どのように活かすのかについて、しっかりとしたビジョンを持っている。 社会や経済、経営全般に関して興味や疑問を抱き、それらについて自分で積極的に調べることができる。
法学部	法律学科	法的知識と法的思考を生かし、人間の尊厳のために貢献できる人材を養成する。なお、理念・教育目的を明確に表現するため、次の日本語および英語のモットー掲げる。「法的知識と法的思考を、人間の尊厳のために」 "Think legally, for human dignity"	<ol style="list-style-type: none"> 学びの基礎となる「国語」「外国語(英語)」「公民」の学力が法学部で学ぶ水準に達している。 本や新聞を定期的に読む習慣があり、それを通して法や政治への関心や知識を持っている。 将来への目標を有しており、そのために必要となる法学部での学習内容を理解し、学習への意欲を十分に持っている。 物事を筋道を立てて説明でき、自分なりの言葉で表現できる。
工学部	機械知能工学科	人類のために、知的なモノづくりを通して、信頼され期待される国際的エンジニアを養成する。	<ol style="list-style-type: none"> 電気電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力を有し、自ら学習しようとする積極性を身に付けている。 先端科学技術に強い関心を持ち、理工系学生にふさわしい強い学習意欲と高い目標を有している。 本学科の教育内容を十分に理解し、本学科を志望する理由、勉学動機を有している。
	電気電子工学科	電気電子工学の基礎知識を持ち、人類社会の発展に十分貢献できる豊かな人間性と正しい倫理観を有する技術者を養成する。	<ol style="list-style-type: none"> 電気電子工学を学ぶために必要な数学・物理・英語の基礎学力を有し、自ら学習しようとする積極性を身に付けている。 先端科学技術に強い関心を持ち、理工系学生にふさわしい強い学習意欲と高い目標を有している。 本学科の教育内容を十分に理解し、本学科を志望する理由、勉学動機を有している。
	環境建設工学科	キリスト教精神に基づく倫理観を備え、社会人として必要な教養を身に付けるとともに、基礎的専門知識を着実に習得した実践型の建設系技術者を養成する。	<ol style="list-style-type: none"> 本学科で学ぶために必要な基礎学力を有し、環境・土木・建築分野の勉学と仕事に興味と意欲を有する。 本学科で学んだ知識を基礎として、様々な技術的課題を関連付けて考察でき、社会の多様な要望に答えるために必要な「考え抜く力」を養う意欲を有する。 社会人および技術者として不可欠なコミュニケーション力を養うとともに、信頼される社会人に不可欠な基本的な生活習慣を身につける意欲を有する。

学科の理念・目的、求める学生像②

学部	学科	理念・目的	求める学生像
地域総合学部	地域コミュニティ学科	多様な要素から成り立つ地域を深く理解して、地域住民の視点でよりよい地域を構想し、地域の課題を解決していくことのできる人材を育てる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 十分な基礎学力を有している。 2. 地域で生じている多様な現象・問題に関心を持ち、それを深く探求・解決しようとする強い意志を有している。 3. 学校内外の活動に積極的に取り組んだ経験を持ち、その内容を自らの言葉で表現し説明することができる。 4. 本学科の教育内容とその特色をよく理解し、将来も地域に積極的にいかかわっていかうとする明確な目的と意欲を有している。
	政策デザイン学科	地域社会を地球規模の社会経済システムとの関係で捉え、さまざまな地域の課題に多様な担い手が協働して取り組むための研究・教育を行うことで、課題の解決に資することができる人材を養成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 十分な基礎学力を有し、本学科の教育内容とその特色をよく理解している。 2. 本学科で学びたいという明確な意志を持ち、それを自分の言葉で表現することができる。 3. 地域が抱える具体的な社会課題に関心をもっている。 4. 行政や政治のありよう、経済や社会のしくみ、住民や事業体の協働といった観点から、地域課題の探究および解決への貢献に意欲がある。
情報学部	データサイエンス学科	情報科学、数理科学や社会科学の幅広い学びを通して、社会が抱える種々の課題を自ら実践的に解決し、新たな価値を創造できる人材を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 十分な基礎学力と理解力を有し、あわせて情報科学系、数理科学系、社会科学系のいずれかの科目に強い興味と関心をもっている。 2. 本学科のカリキュラムを理解し、卒業まで目的意識をもちながら専門的に学ぶ意欲を有している。 3. 一般社会においてデータや情報がどのような役割を果たしているかを理解し、関連する諸学問分野に広く興味と関心をもっている。 4. 他者の意見や価値観に耳を傾け、自分の考えについて筋道を立てて自分なりの言葉で表現することができる。
人間科学部	心理行動科学科	人間生活の抱える種々の問題に現実的に対処すべく、人間を多角的・実証的に捉える力を備え、健康的な生のあり方を追求する人材を養成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「国語」「英語」「数学」の学力が人間科学部で学ぶに相応しい水準に達している。 2. ものごとを論理的、実証的に分析するための基礎的思考力と、その内容を自らの言葉で的確に表現しようとする態度を備えている。 3. 人間への興味と、未知の側面を探求しようとする意欲・態度をもっている。
国際学部	国際教養学科	英語、中国語、韓国・朝鮮語のいずれか、並びに国際化を意識した日本語の運用能力を高めて、異なる背景を持つ人々との意思疎通手段を増やし、グローバルな問題や動向に配慮しつつ、ローカルコミュニティ(在住地区や所属組織など)に積極的に貢献できる「よき地球市民 (Good Global Citizen)」を育成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 十分な基礎学力を有し、英語、中国語、韓国朝鮮語のいずれかを学び続ける意志がある。 2. 多様な言語、文化、文明、宗教、国や地域の成り立ちや関係などについて、興味を有している。 3. 学びへの意欲と興味が、過去の経験や現在の状況、あるいは将来の展望と結びついている。 4. 自分の考えを、筋道を立てて自分なりの言葉で説明することができる。